

とくいの銀行
なんとなく
開業マニュアルブック
増補版



深澤孝史 + 取手アートプロジェクト



とくいの銀行
なんとなく
開業マニュアルブック
増補版

目次

はじめの挨拶	煮え切らない活動理念	4
開業準備編	とくいの銀行のだいたいの説明と仕組み	6
	[がんばれ! とうどり君! 第1話] はじめまして、とうどり君! とくいの銀行とは? / とくいの銀行の仕組みと利用方法 / とくいをあずける / とくいをひきだす	
	店舗と設備	10
	[がんばれ! とうどり君! 第2話] 店舗だよ、とうどり君! 店舗について / アートのある団地 / 設備について	
	とくいをあつめよう	14
	[がんばれ! とうどり君! 第3話] とくいをあつめろ、とうどり君! 初めてとくいをあつめる / 出張営業 / イベントを開いてみよう	
営業編	ひきだしイベントの紹介	20
	[がんばれ! とうどり君! 第4話] ひきだしだよ、とうどり君! アートプロジェクト間でのアーティスト派遣業! ? / まほうづくり / ヴァイオリンサロンというターニングポイント	
	column 「下手な」というとくい 川本 祥子 講座系ひきだしイベント / とくいの不正利用事件 / ふつうに役立つ とくいの銀行 / ウォーキング井野が「ちくちく地区」をひきだした	
	column お互い様にお得意様です 宮田 篤 + 笹 萌恵	
	銀行員をあつめよう	30
	[がんばれ! とうどり君! 第5話] 入社試験だよ、とうどり君! 銀行員募集説明会	
	column 銀行員のための覚え書き 足立 真悟	
	企画会議を開こう	32
	[がんばれ! とうどり君! 第6話] 企画会議だ、とうどり君! 企画会議について / ひきだそう会	
	支店を開こう	38
	[がんばれ! とうどり君! 第7話] 支店開業、とうどり君! とくいの銀行 浜松支店開業 / とくいの銀行 守谷中学校美術部 支店 開業説明会	

	column とくいの銀行を守谷中学校で開いた理由 荒井 弘勝	
	おわりに	42
	[がんばれ! とうどり君! 最終話] がんばれ、とうどり君!	
	column 銀行がひきだす団地の風景 羽原 康恵	
	column 弱点の正気 岸井 大輔	
おわりの言葉	どこかで見たことのある風景	48
増補版挨拶	増補版発行にあたって	52
支店紹介編	頭取がひらいた支店	54
	[続がんばれ! とうどり君! 第1話] 再開! とうどり君!	
	とくいの銀行 ななつぼし商店街支店／とくいの銀行 札幌支店 since1869	
	いろいろな人がひらいた支店	68
	[続がんばれ! とうどり君! 第2話] 支店長誕生! とうどり君!	
	まちなかとかいの銀行 富山市中心街支店／とくいの銀行 二子玉川 出張所／Boleh Bank (とくいの銀行シンガポール支店)／とくいの 銀行 白老支店	
その後の本店編	2013年以降の井野本店	80
	[続がんばれ! とうどり君! 第3話] 山あり谷あり、とうどり君!	
	おわりに	90
	[続がんばれ! とうどり君! 第4話] ゆるゆる続くよ、とうどり君!	
	essay かんちがいの美学、めんどくさい公共 谷 竜一	
付録	ちよとくりスト(抜粋)	96
	とくいの銀行年表	98
	スタッフ紹介 (2024年3月時点)・ウェブサイト紹介	100
	備品ペーパークラフト	101
	ATM／通帳／看板	

はじめの挨拶

煮え切らない活動理念

深澤孝史（とくいの銀行 頭取）

みなさん、こんにちは。

とくいの銀行頭取の深澤です。

とくいの銀行は、お金かわりに「とくい」を運用する銀行です。

この開業マニュアルブックは、読めばおそらくだれでもとくいの銀行を開業できるという便利な本です。

茨城県取手市井野団地を舞台に2011年から実施してきた、大してスムーズでもちゃんとしてもいない営業を振り返りながら、とくいの銀行の運営について解説していきます。

とくいの銀行は、「この人のため」という対象が明確なインフラをつくり、そこから場を広げていくことを基本とする考えのもとにつくりました。

自分たちが面白いと思ったものを自分たちなりに育てられる文化やコミュニケーションの形をいかに築いていくかを目標としてみつつ、単純になにか面白い人々の性質や関わりをみつけたいという思いも強くもっています。私がついて、関わる人がいるという関係のなかから自分たちの銀行をつくっていくのです。

このマニュアルブックが、ここにご紹介するひとつの形式にこだわらず、それぞれの現場をそれぞれの形でつくっていく活動の、なにかしらの足しになれば幸いです。

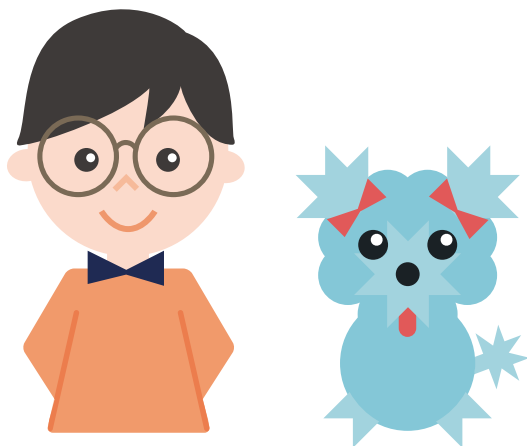
營 業 準 備 編

がんばれ！ とうどり君！ 第1話

はじめまして、とうどり君！

とうどり君 「みなさん、はじめまして、僕は**とうどり君**。この開業マニュアルのナビゲーターをつとめる、とくいの銀行頭取の分身だよ。これから君たちをとくいの銀行の開業の旅へ、誘っていこうというわけさ。僕もまだまだわからないことがいっぱいだから、みんなと一緒に成長していきたいと思っているよ。どうぞよろしくね。
そして彼はアシスタントで、とくいの銀行のゆるキャラ的存在の**とくいぬ君**」

とくいぬ君 「みんな、こんにちは。僕はとくいぬ君。とくいの銀行のゆるキャラ的存在だよ。体は廃品の梱包バンドでできているんだよ。つくるのにとっても手間がかかるんだ。こんな僕もこのとくいの銀行にあずけられたとくいから生み出された生命体なんだ。いわばとくいの申し子というか申し犬なんだ。
これからこの本を通じてまだまだ未熟なとうどり君をサポートしながら、君たちと一緒にとくいの銀行の仕組みやありようを学んでいくよ。どうぞよろしくね」



▶ とくいの銀行について



とくいの銀行は、お金のかわりにみなさんの「とくいなこと」をあずかる銀行です。あずかった「とくい」は、あずけた人同士で交換し、利用することができます。

▶ とくいの銀行の仕組みと利用方法



料理のとくいをひきだしたいときの例

とくいをあずけると、他の人があずけた「とくい」をひきだすことができます。銀行は、ひきだしの申し込みを受け、仲介し、ひきだしイベントを企画します。

▶ とくいをあずける

とくいの銀行 ちよとく票 _____年 月 日

お金の事もご記入ください。(銀行振込用紙です。)

☐番号	とくい
-----	-----

自己紹介・内容

▲上記は公開▼下記は非公開となります。

おとくいきま情報

おなまえ
住所
電話番号
e-mail
ひきだし際の必要経費、その他注意事項等

※ひきだし記録 ※担当

日付	ひきだした人(名前、連絡先)	担当

ちよとく票

ちよとく票に記入することで、「とくい」をあずけることができます。

ちよとく票には、あずけたい「とくい」の名前、その説明、ちよとく者の名前、連絡先などを記入します。

▶ とくいをひきだす

##とくいの銀行		年 月 日
ひきだし申込書		
ちよとくリストからお好きなとくいを選びご記入ください。		
番号	とくい	
ひきだし希望日		
伝えておきたいこと		
引き出し者情報		
おなまえ		
電話番号		

■ ひきだしイベントチェックリスト ■

できた項目はチェックしてください

ひきだし者に連絡をする (引き出しボックスに入っていたとき)

ちよとく者に連絡をする

領収に報告する

開催日を決める

月 日 曜日

ひきだしイベント名をきめる

広報物 (ポスター、チラシ) をつくる

必要なものを用意する

ひきだしイベントを開催する

写真をとる

ブログにアップする

※この用紙は日誌のはじめに置いておいてください。

ひきだし申込書

「とくい」はひきだし申込書に記入してATM(※ P.13 参照)に投函するか、銀行員に渡すことで、受付されます。その後銀行員が双方に直接連絡をとり、両者の合意がとれれば「ひきだしイベント」を企画します。

がんばれ！とうどり君！ 第2話
店舗だよ、とうどり君！

とうどり君 「えっせ、えっせ、えっせ、えっせ…」

とくいぬ君 「あれ、とうどり君、なにやっているの？」

とうどり君 「なになって、もちろん銀行を建てているんだよ」

とくいぬ君 「え!? でもこれってダンボールじゃないの？」

けいさつ君 「おい、その人！ 勝手に変なものを道に広げてはいけないよ！」

とくいぬ君 「…」



▶ 店舗について

とくいの銀行を開設する場所は、不特定多数の人が集まることができる公共的なスペースが好ましいでしょう。独自の拠点を構えることができなくても、公共施設のロビーやシェアハウスの共有リビング、商店街の空き店舗などを間借りできれば人が集まりやすいかもしれません。

本店も、実は独自の店舗をもっていません。井野本店は取手アートプロジェクトと井野団地が共同運営している「いこいの+ Tappino」に間借りして運営しています。銀行員は常駐していませんが、ここにはボランティアさんがいつもいるので、はじめの受付だけ対応していただいている、主なイベントもここで開催しています。



アートのある団地

取手アートプロジェクトコアプログラム〈アートのある団地〉は、様々な価値観をもつ様々な人々がひとところに暮らす“団地”を社会の縮図ととらえて、そこでの日常に寄り添う形で芸術表現を投げかけ続けることで生まれていく、新たな生活のあり方やコミュニティの形を探っています。

深澤孝史の「とくいの銀行」が営まれている取手井野団地は、1969年に建てられたUR都市機構管理の団地。取手駅から徒歩圏内の立地に総戸数2,267戸、約3,800人が暮らしています。高齢化率は2013年4月時点で約36%。2011年に高齢者の見守り機能を兼ねて団地の自治会や民生委員、市民ボランティアとともに立ち上げたコミュニティカフェ+活動拠点「いこいの+ Tappino」を多世代が関わられる活動のハブとして育てつつ、この団地と長期的に関係を結ぶパートナーアーティストによるプロジェクトを並行展開しています。

羽原 康恵 (取手アートプロジェクト 事務局長)

▶ 設備について

.....

店舗のめどがたったら、必要な設備をととのえてみましょう。

なにが必要かは工夫次第ですが、だんだんやっていくうちに、あると便利なものがいろいろできましたので、いくつか紹介していきます。

また付録として、これさえあればすぐ開業できる優れもの「備品ペーパークラフト」(※ P.100 参照)を用意しましたので、あわせてご覧ください。

通帳

通帳は銀行の開業おしらせチラシとリバーシブルになるようにデザインしました。とくいの銀行に口座を開設したときに通帳をお渡ししています。

あずけたりひきだしたりすると記帳していきます。

通帳はちよとく者に渡したあとつかわれないうちになってしまうことが多い点が、改善しないといけないポイントです。

通帳をつくる際、団地でたむろしている小学生たちを相手に、「団地絵画コンクール」を勝手に開催し、優秀作品に通帳の表紙を飾ってもらいました。

営業日誌

今日なにがおこったか、あずかり、ひきだし件数などを記録報告するための日誌です。なかなか便利。普段は取手にいない頭取・深澤のかわりに、「いこいの+Tappino」のスタッフが記入してくれています。

ポスト型 ATM

はじめはすべてアナログだったとくいの銀行ですが、ATMをつくり、ある程度自動化させようと試みました。

といってもやはりただのポストをつくっただけですが。

用紙に書き込んで入れておいてもらえれば、あとで銀行員が確認して連絡をとることができる、とっても原始的な備品です。

団地の小学生にクレパスでの塗装を手伝ってもらいました。

掲示板&ちよとくリスト

はじめの頃は、あずかったとくいとその説明を順番に掲示していましたが、とくいがたまってきたら、分類分けして掲示していきました。

「ちよとくリスト」とは、ちよとく者全員のとくいの一覧表です。

やがて数が増えていき、だんだん冊子化していきました。



団地絵画コンクール



営業日誌



ATM



掲示板&ちよとくリスト

がんばれ！とうどり君！第3話

とくいをあつめろ、とうどり君！

- とうどり君** 「実際にとくいをあつめるときの会話のコツを、ロールプレイをしてつかんでみよう。僕が銀行員役。とくいぬ君が住民役をお願いね」
- とくいぬ君** 「わかったワン！」
- とうどり君** 「(犬キャラだけどはじめて語尾にワンをつけた…) こんにちはは、はじめまして。とくいの銀行の銀行員のTといいます」
- とくいぬ君** 「あら、こんにちは。学生さん？」
- とうどり君** 「いえ、もう卒業してしまして社会人です。
実はとくいの銀行という、住民のみなさんのとくいをあずかって、交換しようという活動をおこなっているんです。
みなさんのとくいを通して、地域の交流を図ったり、イベントを企画したりしているんですよ」
- とくいぬ君** 「あらそうなの、若いのに立派だね～」
- とうどり君** 「ありがとうございます。団地にお住まいの方ですか？」
- とくいぬ君** 「そうよ。まだ越してきて3年くらいなんだけどね」
- とうどり君** 「最近ですね！ 住み心地はいかがですか？」
- とくいぬ君** 「ちょっと狭いけど、悪くないわよ。
子どももみんなでていったし、第二の人生ってとこかしら」
- とうどり君** 「いいですね。
ところで是非とくいの銀行にとくいをあずけてもらいたいのですが、いかがでしょう。もしあずけてくださったら、かわりに他の方があずけたとくいをつかってもらうことができるんです。
このリストをみてみてください」

とくいぬ君 「そうねえ、この『大阪弁おしえます』っていいわね。
でも私、とくいなことなんてないわよ」

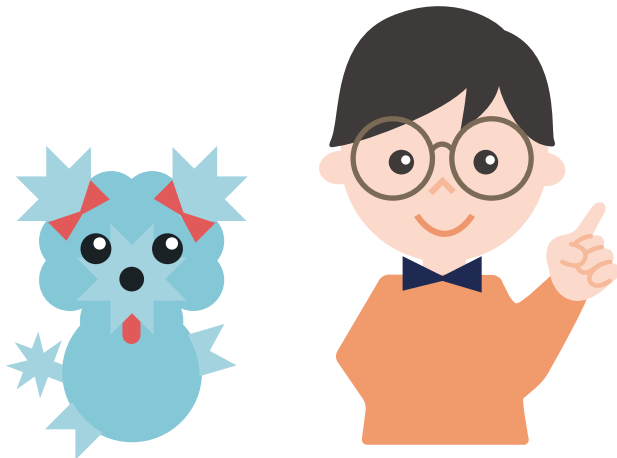
とうどり君 「とくいなことでもなくとも、**やりたいことや普段やっていることで全くかまいません**。むしろとくいなことでもやりたくないことだったら困りますしね(笑)」

とくいぬ君 「毎日やっているといったら散歩くらいよ」

とうどり君 「散歩いいですね！ 是非『散歩』のちょとくをお願いします!!」

とくいぬ君 「なかなか上手だったよ、とうどり君！
とくいのあつめはじめは大変かもしれないね」

とうどり君 「僕らも外を散歩している方に直接声をかけてあつめたりしたね。
とくいなことというハードルが高いから、**会話のなかでその人の特性や興味をききだしたり、普段やっていることでもかまわないからとハードルを下げたりするのもコツ**かもしれないね」



▶ 初めてとくいをあつめる

取手アートプロジェクトの事務所の前の広場で、通りすがりの団地の人に声をかけ、なかば無理矢理とくいをあつめることから始めました。振り返ってみると、このときあつめた人のなかに、その後息の長い常連さんになった方が何人もいて驚きます。



初めてとくいをあつめる

▶ 夏祭り出張営業

井野団地ではこれまで、団地の広場で開催される夏祭りに二度出店しました。2012年の夏祭りでは、団地在住の小学生のつかだ君が大活躍で、友だちという友だちに声をかけまくったり、全体アナウンスを駆使したりして、祭の期間中だけで40件もの「とくい」をあずかりました。



夏祭り出張営業

▶ イベントを開いてみよう

「とくい」をあずかってもなかなかひきだしのイメージがわきにくく、はじめの頃は「投資プログラム」と称して、銀行が独自にひきだしてイベントを企画していました。

長寿の秘訣おしえます

とくいの銀行を開業して間もない頃、団地在住の83歳の飯島さんという方にたまたま外で出会った際に長寿の秘訣の話になり、せっかくなので「**長寿の秘訣をおしえます**」をちょとくしてもらいました。

翌月試しのイベントとして飯島さんをお呼びして、長寿の秘訣のお話をきくイベントを催したところ、団地のひなたぼっこ仲間の方たちをもう二人呼んでできてくれました。しかもそのうちの一人は飯島さんよりも年上の88歳の方でした。

羽田でとれたあさりをつかったチャーハンを食べたという戦後の食生活のお話や普段の散歩のお話、現役時代の仕事のお話などをうかがいました。三人の会話の役まわりが面白く、まるで昔からのご友人のようでした。

お仲間の二人からもちょとくをもらい、その後の交流も続いています。

飯島さんウィリアムさんと団地を散歩しよう

88歳の清水さんがあずけた「**散歩**」のとくいと、取手アートプロジェクトの招聘アーティストの一人である徳久ウィリアムさんとのコラボ企画。

しかしご高齢の清水さんにはちょっと厳しいかもということで、代打としてまたもや飯島さんに登場してもらうことに。飯島さんの毎日の散歩コースのなかにウィリアムさん直伝の「**健康呼吸法**」を取り入れた散歩会を実施しました。参加人数は思ったより集まり20名程度。(次ページへ続く→)



「長寿の秘訣をおしえます」



飯島さんウィリアムさんと団地を散歩しよう

普段は15分でまわれるコースですが、オシロイバナ、むかご、へくそかずらなどを発見したり、呼吸ワークショップがあったり、いつもの景色にちょっとした遊びを見つけたり、小学校の校庭の片隅につまれた土俵のような放射能汚染土を垣間みたり…みんなで歩くと1時間ほどかかりました。

飯島さんには少しご無理をさせてしまったようで、翌日体調をくずされて一日家でおやすみになったそうです。すみません…

梱包バンド工作

塚田さんは頭取の深澤が取手で活動中に声をかけて出会った団地在住の主婦の方です。廃品を利用した工作や手工芸を趣味にされており、そのなかでも以前の職場である新聞店でる廃材の「梱包バンドをつかった工作」が目をついたので、是非にお願いしてちょとくしていただきました。

バンドの束を重ねるとひとつのユニットができ、それを8つつなげると玉がひとつできあがります。それらを組み合わせることで犬をつくったり、くす玉飾りをつくったりします。

その後もひきだし依頼が続き、塚田さん以外の手からも何匹?かが誕生しました。



「梱包バンド工作」

營 業 編

がんばれ! とうどり君! 第4話

ひきだしたよ、とうどり君!

とうどり君 「いらっしゃいませ、とくいの銀行にようこそ!」

とくいぬ君 「やあ、とうどり君。
ひとつとくいをひきだしたいワンだけどいいワン?
この『鼻笛ふきます』ワンだけど…」

とうどり君 「ご利用ありがとうございます!
…じゃ新曲をつくったんで聴いてください!」

とくいぬ君 「え!? これはとうどり君のとくいだったのかワン?」

とうどり君 「実はね!
…と、こんなにスムーズな当人どうしの交換はほとんどなく、基本は
銀行員がみなさんのとくいをあずかったり、ひきだしたりする仲介
をおこなっています!」



▶ アートプロジェクト間でのアーティスト派遣業!?

ちくちく地区

営業開始から2ヶ月、ようやく届いたひきだし申し込みは、なんと団地外からのものでした。東京の商店街で「こども kichi」というアートプロジェクトをおこなっていた劇作家の岸井大輔さんが、これまた取手アートプロジェクトの招聘アーティストの宮田篤+笹萌恵さんのプロジェクト「**ちくちく地区**」をひきだしました。もともと関係のないアートプロジェクト間でのアーティスト交換という展開に、一役買ったとくい銀行でした。

「家族のテーマソング」つくります

現代芸術家の中島佑太さんが継続しているワークショッププロジェクト『**家族のテーマソング**』つくります」をちょとくとしてあずかりました。「ちくちく地区」に続き、頭取の深澤がこのちょとくをひきだし、「大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ 2012」で実施していた「非常美術倉庫」というプロジェクト内での制作を依頼しました。

その後メンバーに即興からめーる団（作曲、^{ところ}處美野さん（録音））が加わり、新潟県十日町市に暮らすとある家族三世代の「ヤマトのうた」が完成しました。



「ちくちく地区」



「『家族のテーマソング』つくります」

まほうつくり

とくいの銀行井野本店がある「いこいの+ Tappino」の目の前には、店舗を改装したアーティストたちの制作スタジオ「井野アーティストヴィレッジ」が建っています。そのスタジオで制作活動をおこないながら、「いこいの+ Tappino」でスタッフをしている美術作家のイノウエみゆきさんがあずけてくれた「まほうつくり」を、団地に住む小学生の女の子がひきだし、彼女のためのまほうつくり会がひらかれました。普段はほのぼのとしている「いこいの+ Tappino」が、あやしげな雰囲気のためよう空間に一変しました。

▶ ヴァイオリンサロンというターニングポイント

ヴァイオリンサロン／ヴァイオリンと津軽三味線コンサート

スタッフとしてとくいの銀行に関わっている川本祥子さんがあずけてくれた「**下手なヴァイオリン弾きます**」というとくいが、団地で独り暮らしをしている女性にひきだされ、ミニコンサートが開催されました。はじめは口コミで20人ほどのお客さんの前で披露しただけでしたが、予想外に好評で、次は津軽三味線（これも取手アートプロジェクトスタッフのとくい）とともにひきだされ、2ヶ月連続のコンサート開催となりました。頭取の深澤が川本さんのマネージメントをするという逆転現象が起き、アーティストとアートマネージャーの役割は固定的なものなのか、表現とはなにを指すのか、議論が生まれそうな状況です。そして翌月、団地在住の方の篠笛とオカリナコンサートが開かれ、音楽イベントは盛況に続いていきました。



「まほうつくり」



「下手なヴァイオリン弾きます」

∴「下手な」というとくい

川本 祥子（取手アートプロジェクト「とくいの銀行」担当）

とくいの銀行が2010年度から始まって3年目、色々な人からの「とくいの銀行って?」という質問にも次第にスムーズに答えられるようになりました。関わる人たちそれぞれがこの銀行を説明できるようになっていて、それを聞いて銀行の存在を知る人たちがじわじわ増えていく。こんな場面に遭遇すると、徐々に「とくいの銀行」というぱっと聞いてなんのことかわからない仕組みが、この井野団地に浸透していつているのを感じます。

私自身も、あずけた「下手なヴァイオリン弾きます」が2回、それぞれ別の方にひきだされました。嬉しいことに、コミュニティカフェでありTAP*の活動拠点でもある「いこいの＋Tappino」の常連さんを中心に、20人以上のお客さんに足を運んでいただきました。普段は運営側にいるのに、急にミニコンサートの出演者になるということの違和感と微妙な居心地の悪さ、でも嬉しいようなくすぐったさが混ざったような気持ちは忘れられません。

さて、とくいの銀行には「下手な〇〇弾きます」という「とくい」が、実は何個かあずけられています。「ホントに上手くないんです、でももし聞きた

いって言ってくれる人がいるなら演奏させてもらいたい…かも…」という遠慮というか、気恥ずかしさがあること、まだ見ぬ「いつかひきだしてくれるかもしれない人」の存在を想定してちよとくしていること。これは「下手な」シリーズだけではなく全てのとくいからうかがえます。だからこそ、あずけられている「とくい」はどれも不思議な引力を持っているように思います。この力は頭取と「銀行員」の、押し売りならぬとくいの「押し買い」によって生まれるものでもあるでしょう。

とくいの銀行は新しい人とのつながり方をつくる仕組みです。知らない誰か、誰かの新しい一面、自分でも気づいていない自分自身の「とくい」が、すぐくアナログな営業形態によって発掘されます。それと同時に、「下手『だけど』いい」ではなく、「下手『だから』いい」とでも言わんばかりの、ゆるやかでなんでもあり、な雰囲気がこの銀行にとって重要なのではないかと思います。

* TAP：取手アートプロジェクトの略称

▶ 講座系ひきだしイベント

団地に住む方々が、ときには先生となり、ときにはおそわる側になるという、「とくい」をもとにした講座が多数開かれました。

そのなかから、ひきだしイベントをいくつかご紹介します。

簡単なストレッチ講座

「いこいの +Tappino」のボランティアの高草木さんが、手軽にできるストレッチをおしえてくれました。ひきだしたのはボイスパーフォーマーの徳久ウィリアムさん。足の筋肉や関節を開くストレッチなど内容は様々で、介護の講座にも足を運んでいる高草木さんならではのストレッチばかりでした。

韓国語講座

「いこいの +Tappino」ボランティアでおなじみの添田さんのとくい「**簡単な韓国語おしえます**」がひきだされました。添田さんはおっとりしているようにみえて好奇心旺盛で、とてもしっかりした方です。

このとくいをひきだした加藤さんが「仕事で韓国語を使いたい」という希望をもっていたので、まずは基本的な母音について学びました。写真は添田さんが用意してくださった「いこいのでつかえる韓国語集」。

好評につき、その後も定期講座となり続けました。



「簡単なストレッチおしえます」



「簡単な韓国語おしえます」

本物のパンづくり教室



「パンづくり教室」

団地在住で元パン職人の成吉さんが開講。まずはパンづくりの心得から。長年使い込んでいる手帳にはレシピがびっしり。粉を混ぜるときには、混ぜる方の手は動かさずにボールをまわすという技術！さすが職人です。職人の成吉さんによる評価は「全然失敗で55点」とのこと。それでもできあがったパンに一同大喜びでした。

戦前戦後の話とアジアの影絵芝居

「太平洋戦争の話」と「アジアの影絵芝居の話」が同時にひきだされたときは、2部構成にして、まったく方向性の違う話を楽しみました。

ひきだした方は戦争をテーマに影絵芝居をつくりたいとおっしゃっていたのですが、残念ながらそこまでは実現せず。現代の影絵芝居と太平洋戦争という時代もジャンルも異なる2つですが、いつかつながるかもしれません。



「太平洋戦争の話」



「アジアの影絵芝居」



とくいの不正利用事件

「パッチワーク講座」をめぐる、ある事件が起きました。

「パッチワーク講座」は連続で10回近く開催される人気講座になったのですが、ひきだすばかりで自分はひとつもあずけない人が現れたのです。参加者の報告で明らかになったのですが、あずけたら誰かにひきだされるかもしれないのでどうしてもあずけたくない、だけどパッチワーク講座は受けないということらしく、銀行の仕組みの編み目を越えて、知人にひきださせることで講座を開かせ、それに便乗して自分も参加するという方法をとろうとしたのです。

そのひきだしは、報告を受けて一旦中止となりましたが、まさかの不正利用がおきたことで、どんなシステムも使いようだなと感じた一件でした。

▶ ふつうに役立つとくいの銀行

イベントと銘うってもオープンにしないひきだしもいくつかありました。お悩み系の依頼がそれにあたります。お互いのタイミングがはずれて流れてしまうことも何度かありましたが、うまく話がまとまった例もいくつかありました。

健康チェック

「健康チェック」は元看護師の方がちょとくしてくれたとくいで、血圧や骨密度などをはかるというもの。

パソコン修理

「パソコン修理」は、ちよとくした人とひきだした人の双方が団地の住民同士だったため、パソコンを診にお宅訪問という形式で実現しました。

お仕事のお悩みお聞きします

「お仕事のお悩みお聞きします」は、福祉関係の仕事に転職を考えている方の相談を、老人介護施設で働く男性が受けてくれました。出し物的なイベントが多かったなのでこのような社会のインフラ的な役立ち方は逆に新鮮でした。



「健康チェック」



「パソコン修理」



「お仕事のお悩みお聞きします」

▶ ウォーキング井野が「ちくちく地区」をひきだした

.....

宮田篤+笹萌恵さんらのアートプロジェクト「ちくちく地区」が、ウォーキング井野という結成 17 年以上のウォーキンググループにひきだされました。

グループの旗を一緒に制作。完成後、宮田さん、笹さんも同行し、1 時間半のストレッチに 1 時間のウォーキングをおこないました。

歩きながら取手の魅力を発見するウォーキング井野と、身近な井野の魅力を旗にして飾っていく「ちくちく地区」とがコラボする、貴重な機会が生まれてとてもよかったです。



旗にする文字を考える



文字を切り抜いて縫い合わせる



ウォーキング井野の旗が完成

∴ お互い様にお得意様です

宮田 篤+笹 萌恵 (アーティスト)

「ちくちく地区」は2枚の布から同一の文字を切り抜いて交換し、それぞれがまた1枚の布に戻るように縫い直すことで、すこし変わった模様と色のことばの旗をつくる仕組みです。

切り抜いた形は同じように読むことのできる文字なのに、それぞれ筆跡やスケールが違ったりして、切り抜かれて空いた形とはピタリとはまりません。

そのズレた感じとか、ズレを糸でくっつけてゆく行為が縫い目の模様として残ってゆく感じが、イメージの齟齬や分断や、それを乗り越えることやその結果と、共通する部分があるかもしれないような

気がしています。

「ちくちく地区：井野団地」では、さまざまな方が暮らすこの団地で、団地の方々のいろいろな視点や視線からみつけた、井野団地のことばをあつめて掲げようとしています。とくいの銀行さんにこの「ちくちく地区」をあずかってもらったのは開業されて間もない頃だったと思いますが、それから二度ほどひきだしの連絡をいただいでいて、どちらも普段の活動では行えないようなつながりをもたせていただいています。

お互い様にお得意様です。

今後ともご最真にお願ひします。



がんばれ！とうどり君！第5話

入社試験だよ、とうどり君！

とうどり君 「それではみなさん、これからとくいの銀行の入社試験を始めます！」

とくいぬ君 「とうどり君、だれも来ていないワン…」

とうどり君 「えー、いったいどうしてなんだ…」

とくいぬ君 「そりゃそうだワン！ 月給 200 とくいって…」

とうどり君 「やっぱり、日本円じゃないとだめか…」



▶ 銀行員募集説明会

.....

井野本店では銀行員募集説明会を2度開きました。

1回目の説明会では銀行の業務や体系をうまく説明できず、頭取だけにまかせておくとちょっとまずいな…という空気が伝わり、2回目の説明会では、その後の活動をがっちり支えてくれる銀行員があらわれました。

☺: 銀行員のための覚え書き

足立 真悟（とくいの銀行 銀行員）

銀行員の仕事は、第一に、ちよとくポスト・ひきだしポストを定期的を確認すること。

なにか入っていたら、登録業務をしたり頭取に連絡したりします。

このあたりは事務仕事。でも身構えることはありません。

五分ですむ作業のために銀行へ行った。子どもにつかまって、いやむしろ自分から子どもを追いかけ回して、作業が一切進まなかった。それでもいいんです。

ひきだしがあると、あずけた人とひきだした人との連絡役になることもあります。

なんか、知らない人と話すの苦手だし、めんどくさいなあ、と思ったら、頭取に丸投げしてしまいましょう。大丈夫です。

今後どうするのか？ 次のひきだし会
は？ など、会議もあります。

意見があれば積極的に言いましょう。
だるいなあという感じなら、ぼんやり
していても大丈夫です。

どうせほうっておいても会議は勝手に
脱線していきますから。

ひきだそう会の準備など、工作もあります。

工作が苦手でも全然問題ありません。
誰にでもなにかしら苦手はあるし、そ
の代わり得意もあるからです。

ここで重要なのは、「工作苦手だし、
すぐに疲れちゃうんです」という空気
を出すこと。

間違っても頑張ったり、できるふりを
したり、無理してはいけません。
なにごともあるがままです。

脱線・失敗はいつものこと。

もし、銀行員になったら、「なんとなく
」「別にまあいいや」という精神を
忘れずに、ことに当たるといいかもし
れません。

がんばれ！とうどり君！第6話

企画会議だよ、とうどり君！

とうどり君 「とくいもたくさんたまってきたけど、つかわれないとくいもふえてきたなあ…」

とくいぬ君 「ワンワン！」

とうどり君 「よし！つかわれないとくいをどうしたらいいか、みんなで考える企画会議を開こう！」

とくいぬ君 「ワンワン！」

とうどり君 「あれ、とくいぬ君、今日はあまりしゃべらないね？」



▶ 企画会議

とくいの銀行では2013年4月現在で、200件以上の「とくい」をあずかっていますが、なかには、誰からもひきだれずにそのまま埋もれてしまうものも少なくありません。

ひきだされにくいけどみてみたいなあ、と思うものもたくさんあります。また「とくい」の一覧を眺めていると、これとこれを組み合わせたら面白そうだなあなど、ひきだし方法の妄想が膨らんでいくこともしばしば。

ひきだされるのを待つのではなく、新たな企画として銀行側でひきだしてみようと、一緒に考えるためにおこなうのが企画会議です。

その企画会議を経て生まれたのが第1回ひきだそう会でした。

▶ ひきだそう会開催

なかなかひきだされそうにない「とくい」をあつめ、同時多発的に開催してしまおう！というのがひきだそう会です。

会場は「いこいの+Tappino」と、団地の広場や住居を使わせてもらいました。

木枠と寄付であつめた布をつかい、壁をつくり回廊状にアレンジ。低予算のため安普請^{やすぶしん}で、いつ崩壊するかわからない危険がありました。

団地のみなさんや子どもたちと準備しながら、「いこいの+Tappino」内に区切ってブースを設けたり、屋外にはコンサートステージをつくったりしました。



ひきだそう会準備の様子



「いこいの+Tappino」のひきだそう会看板

第1回ひきだそう会

4.「トミカ修復」



1. 開会式 & 「水泳体操」



2. スタンプラリー



3.「丁寧に字を書きます」



1. 開会式 & 陸上での「水泳体操」

開会式と同時に開催。かずき少年のとくいな「水泳」をもとに平泳ぎ深呼吸、銃弾を避ける動きの背泳ぎなど、独特な準備体操ができあがりました。

2. スタンプラリー

いよいよとくいのブースが自由に体験できます。「いこいの+Tappino」の入り口でスタンプラリーの用紙を受け取り、ブースを体験することにももらえるこのスタンプは、全部集めてもなにも起こらないところがとくいの銀行です。

3. 「丁寧に字を書きます」

用意したネームタグや名前シールに、羽原さんが心を込めてあなたの名前を書きます。

4. 「トミカ修復」

自分でもってきた傷ついたトミカの色を黙々と塗り直します。前夜祭にあらわれた尾田先生の急速飛び入り参加でした。

5. おなじみの「梱包バンド工作教室」



5. おなじみの
「梱包バンド工作教室」



6. 「ガンブラづくり」

7. おじさんたちに大人気
「ハンドトリートメント」



8. 「風呂敷の包み方」

6. 「ガンブラづくり」

最も大きなブースでした。事前に用意したジオラマにプラモデルを飾ります。はるまき少年をはじめ子どもたちが主役です。彼らはひきだそう会の準備も手伝ってくれました。

7. 「ハンドトリートメント」

溝口さんはアロマオイルをつかった「ハンドトリートメント」をしてくれます。この日もおじさんたちに大人気でした。

8. 「風呂敷の包み方」

呉服売り場で身につけた「風呂敷の包み方」をおしえてくれるのは岩田さん。日本人の知恵風呂敷は、お酒の瓶からパソコンまで、形に合った包み方ができ、持ち手をつくることもできます。

12. 「総合格闘技の技を ひたすらくらいます」



9. 「煮物改め焼きそば」



11. 「カードゲーム」



10. 「マッサージ(指圧)」



9. 「煮物改め焼きそば」

おいしい煮物を食べたい! と思ったところ、都合で変更になったのが「煮物改め焼きそば」。煮物を食べさせてくれるというくだったのですが、仕込みに時間がかかるということで、お好み焼き屋経営の浜本さんもうひとつのくい、焼きそばに。絶品でした。

10. 「マッサージ(指圧)」

屋内最後のブースは、みちかさんの「マッサージ(指圧)」です。他の方の代役で登場。ひきだそう会の看板づくりでも大活躍でした。これで順路を一周し、「いこいーの+ Tappino」の外へ。

11. 「カードゲーム」

外に出てすぐにあるのは、出店のような「カードゲーム」。遊べるのはデザイン性の高い海外のものです。自分は黒騎士だと言い張ってやまない団地在住の男性は、普段から子どもたちのために遊びを提供してくれています。

12. 「総合格闘技の技をひたすらくらいます」

少し離れたところで技をかけられるのを待っているのは、「総合格闘技の技をひたすらくらいます」の弓木さん。いじめ対策のために習いおぼえた格闘技を参加者におしえ、かけさせてくれます。致命的な技のため、ギブアップの仕草を見逃してはいけません。あえて自らやられる場をつくっている感動的なコーナー。



13.
「台所
便利
チェック
ツアー」

13. 「台所便利チェックツアー」

ブース体験の途中で頭取の鼻笛が鳴り響きました。希望者を募っての「台所便利チェックツアー」です。小旗を持ってみんなでぞろぞろと向かった先は団地の高草木さん宅。主婦の知恵のうかがえます。アナログフォトフレームなる利器を駆使し、収納のコツを写真に収めました。



14.
「こども
タッピーノ」

14. 「こどもタッピーノ」

ひきだそう会のブース体験タイムが終わり、後半はとくいのステージです。全員で場所を移り、ステージでの出し物を楽しみます。

「いこいの+Tappino」のなかではうるさく騒がないということと、ひきだそう会の準備中に脱線して独立した企画がこれ。工作からなにからすべて子どもたちがやりました。この日はじゃんけん大会を開催し、勝者にはメダルが贈られました。



15. 「風呂敷の包み方ショー」

15. 「風呂敷の包み方ショー」

岩田さん再登場。ここでは普段は包まないような大きなものを包みます。テーブルを包んだ次は、銀行スタッフの川本さんを見事に包みました!

16. 「リコーダーと鼻笛コンサート」

最後は、取手笛の音楽隊と頭取の合奏です。「威風堂々」「大きなつぼの古時計」、そして最後に「蜜の光」を聴きながらの閉会式になりました。もの悲しくも美しいフィナーレでした。

急遽変更、代役、などの多かった綱渡りのイベントでしたが、事故もなく、盛況のうちに幕を閉じました。

16. フィナーレ!
「リコーダーと鼻笛コンサート」



がんばれ! とうどり君! 第7話
支店開業、とうどり君!

とうどり君 「よし、本店も順調だし支店を開くぞ!」

とくいぬ君 「ワン!」

とうどり君 「他の地域からもとくいの銀行を開いてほしいっていう声があるんだよね」

とくいぬ君 「ワン!」

とうどり君 「前回からとくいぬ君、『ワン』しかいわなくなったけどどうしたの?」

とくいぬ君 「ワンワン!」

とうどり君 「とくいぬ君…もしかしてしゃべれなくなったの…?」



▶ とくいの銀行 浜松支店開業

とくいの銀行 浜松支店が、2011年12月から2012年3月までの期間限定で、浜松市中区の鴨江別館にオープンしました。4ヶ月の営業期間中に50件以上のとくいがあつまりました。近所の小学生がパンをつくりたいということで、あずけてくれた乾さんとともに「パンづくり」をおこなうなど、数件のひきだしがおこなわれました。

▶ とくいの銀行 守谷中学校美術部支店 開業説明会

隣市の中学校に開業方法の説明をしに行ったこともあります。守谷市にある中学校美術部顧問の荒井先生がとくいの銀行の活動に共感してくれたのが始まりでした。説明会では、まず銀行の仕組みをわかってもらうため、部員たちにちよとくしてもらい、それをみんなでひきだすという、デモンストレーションをしました。このときにあつめた部員たちのとくいを、本店の方で期間限定で公開していたのですが、見事にひきだしがあり、「守谷中学校美術部 ひきだそう会」へとつながります。

守谷市にあるアーティストインレジデンス施設 ARCUS が運営するスペース「モリヤイーストキャスト」にて開催された「守谷中学校美術部 ひきだそう会」。部員たちそれぞれのブースと、発表のためのステージからなります。保護者の方が子どもの新たな一面を発見し感動する姿もみられました。現在、美術部支店は営業していませんが、この体験を通じて、彼らのなかに何かを残せたのではないのでしょうか。



浜松支店 ATM



ARCUS での「守谷中学校美術部ひきだそう会」

とくいの銀行を守谷中学校で開いた理由

荒井 弘勝（守谷中学校 美術部顧問）

私が守谷中学校に赴任し美術部を任された当時のことです。「今年の目標を言ってみてください」との問いに、「今年こそは、後輩と一言でもいいから会話してみたいです」と答えた3年生がいました。今まで後輩と一言も会話を交わしたことのない部活…。活動はA4の紙に思い思いのマンガを描いて、描き終わると捨てていました。いつの間にか、部活は終わっていて、何のあいさつもなく生徒は帰っていく。なんと、その年の卒業アルバムに美術部の写真を載せ忘れるという事件までおきる始末。存在感のまったくない部活動でした。これじゃつまらないだろうなと思いました。スクールカーストということばをご存じでしょうか？ 一般的に美術部というと、部活動のなかでも下位の扱いを受けがちです。悲しいかな、部活動ランクのなかでも地位が低いとされる…。「どうせ私たちなんか…」などと自分からいう生徒も

います。自分からそんなことを思っ
てほしくない。もっと、自分のやっている
ことに自信をもってほしい。

守谷中美術部は、体育会系とよくいわ
れますが、ある程度規律があって、集
団としての意識を高めていかないと、
部活動って成り立たないんじゃない
か？と思っています。私たちだって、他
の運動部と変わらないくらい一生懸命
がんばっている！と感じてほしい。

そこで、普段から大切にしているのが
「創造的な雰囲気」です。フランツ・
チゼックとウイヘルム・ヴィオラと
いう美術教育学者から受けた影響が、
私の美術教育のすべての基本になっ
ています。彼らは、美術はおしえるこ
とができないといっています。できるの
は、創造的な雰囲気をつくりあげるこ
と。それさえできれば、その勝負はも
う勝ったも同然だといっています。

大人の思惑で「指導」という名の「方
向づけ」をしてしまうことで、そのとき
にしか出会えなかったはずの「表現」



を殺してしまうようなことは避けなければなりません。「君たちは君たちであって、自分しかない表現に自信をもってほしい。君たちは、あやつり人形じゃない。大人の思惑で、ああ描け、こう描けといわれて描くのではなく、自分が思う表現を、背伸びせずに、でも手を抜かずに一生懸命表現してほしい」と部員にことある度に伝えています。5歳の子は5歳の絵を描けばよいのであって、大人のような写真のような絵を描かせたところでなんにもならないと本気で思っています。何年かして自分の作品をみた時に「なんでこんな絵を描いたんだ？」と恥ずかしくなるくらいでいいんだと思います。失敗は、しなければなりません。成功だけではなにも得るものがありません。ぐちゃぐちゃに悩むことだって絶対に必要なのです。そんな経験がないまま、大人になってもろくなことはありません。でも、そんな思いを、互いに理解し合う場所ってなかなかありません。

そんな思いを共有できる居場所が美術部だったらいいなと思いました。私も色々やってみるから、みんなもやってみよう！ 失敗したっていいじゃない？ 的な…。

そこで、部活動としての集団を確立するために必要だったのが「コミュニケーション」です。子どもたちには話し合うこと、自分の意見を伝えることの大切さについて話してきました（なかなか、身につきませんが…自分も含め）。

今回「とくいの銀行」と知り合うことができたのは、私的には奇跡にも近い幸運なのです。TAPに行って一目でしびれました！ これだ！ と思いました。なんてやさしい表現なんだ！ と思いました。互いを認め合い、求めると同時に自分の存在を確かめていく。こんな素晴らしいしかけに子どもたちをどっぷりと浸らせたい！ と思ったのが今回のイベントを実現したかったきっかけです。

がんばれ！とうどり君！最終話
がんばれ、とうどり君！

とくいぬ君 （とうどり君、とうどり君！）

とうどり君 「むにゃむにゃ…
あれ、とくいぬ君、おはよう」

とくいぬ君 （とうどり君、今日はとうどり君にお別れをいいにきたんだ）

とうどり君 「え、どういうこと？」

とくいぬ君 （とうどり君はもう一人前になったから、僕の助けはきつとிரらない。
これからはもう僕がいなくてもやっていけるよ。だからさようならだ）

とうどり君 「そんな、とくいぬ君。
僕はとくいぬ君がいなくちゃなんにもできないよ！」



とくいぬ君 (大丈夫。とうどり君は心のなかに自分だけの銀行をもったんだから。ただの置物に戻っても、みんなの銀行をずっと見守っているからね)

とうどり君 「待つて、とくいぬ君！ 自分だけの、銀行？」

とくいぬ君 (はじめ一人だったとうどり君も、とくいの銀行を通してたくさん仲間がふえたじゃないか。それこそがとうどり君の財産だ！)

とうどり君 「ぶええん」

とくいぬ君 (泣かないで、とうどり君！ 前を向いて、がんばれ！ とうどり君！)

とうどり君 「…いままでありがとう、とくいぬ君！」



⋯:「銀行」がひきだす団地の風景 —とくいの銀行井野本店を眺めて

羽原 康恵（取手アートプロジェクト実施本部 事務局長）

とくいの銀行井野本店のある「いこいの+ Tappino」は、取手アートプロジェクトだけではなく、団地の自治会や地区の民生委員さんなど、地元の方と一緒に立ち上げた委員会で運営しているのだが、時折市民もちこみの企画の実施可否などが諮^{はか}られることがある。その企画をそのまま運営委員会で「やってよし」と通すのが、運営のバランス上難しかったりするとき、自治会さんの口から「とくいの銀行さんにあずけてやってもらえば？」という言葉が出たりして、とくいの銀行は井野団地のなかで、ある種免罪符的にも認知されていたりする。

ある日の夕暮れに銀行員を自負する小学6年生が、女子高生を捕まえてさらりとちよとくをさせていたりもするし、平日のカフェ運営の傍らで「いこいの」のボランティアさんが知り合いの利用者に「とくいの銀行っていうのがあってね…あなたたくさんちよとくできそうねえ」と品定めしつつ説明していたりする。ボランティアさんが自分の企画のために、とくいをひきだす。とくいの銀行をつかった方がきつといいのよね、と思う主婦の方が比較的頻繁に自発的にひきだしてくれたりする。

そんなとき、きっとこの銀行に関わる人の脳裏には、「いこいの」の天井から

ぶら下がる団地型の間接照明に頭をぶつけそうなくらい背が高い、ぼーっとしてそうでいて、やたら気遣いが細やかだけれど時折眼光の鋭い、かの頭取のことが浮かんでいるような気がする。

この銀行は一見すると汎用性が高そうなのだけれど、銀行がもつ何ともいえないゆるさ、押しの弱さ、確固たる仕組みですよという顔をしない雰囲気は、かの頭取あつてのもので、そしてその気配が実はこの仕組みにとって非常に重要な気がしている。とくいの銀行は、単なる地域通貨の亜種ではもちろんなく、それ以上なのか以下なのかというよりは、ふと違う目線で自分の暮らす周囲をみるための仕掛けとしてだけ、のんびりと団地のなかにあるのだ。

今回のドキュメント制作がきっかけとなって、ひきだし損ねていた岸井大輔さんのとくい「なやみきます」を何ヶ月かを経てリベンジでひきだすことができた。劇作家と頭取とともに谷中界隈を歩き、地域のなかでのアートプロジェクトが向き合う局地的幸せの限界についてとか、あれやこれや話しつつ過ごした数時間が、既存の交換価値を有無をいわずひっくり返していることに気づき、つついにやつきながら、緑の常磐線で、取手まで。



弱点の正気

岸井 大輔（劇作家）

深澤くんは、なめられるのが作品だ。ずっとずっと、ばかにされるのが仕事なのだ。

アートは、対等とリアルを求める。この2つは実は同じで、現実を直視するということだ。

でも、人間そんなに強くない。嘘をつき、言い逃れをしたい。そして、自分でついたり受け入れたりした嘘が、ちょっとずつ自分を守る壁になり、乗かって守られて生きていく。

ときどき、自分がついた嘘が自分を苦しめ出す事もある。そんなときには、自分でも、どこまでが現実でどこまでが虚構なのかの区別もつかなくなっているだろう。もはや、そのフィクションにたくさん約束や投資をしているから、辞めるに辞められない。そして苦しみは増す。

アート作品は普通、嘘を暴く。アーティストは、嘘から解放された人の隣に、赤裸裸に現れ「大丈夫、私たちは対等だ、現実を変えよう」というだろう。それで救われる人もたくさんいる。でも、やっぱり人間そんなに強くない。

自分を支えている物語が消え去るだけの可能性に賭けたくない。アートは暴力だ。乱暴者だ。怖い存在だ。

そこに、深澤くんが登場する。彼は、どうみても、何かをごまかしているし、信頼にたりない。作るものをみてもなよとしていて、こわれる寸前だ。リアルでもないし、自分ならもうちょっとましなものを作れるよなー、と思うので、対等性もない。

しかし、これが彼の手なのである。徹底的に弱く、薄く、侮蔑され、嘲弄される。そうすることで、他のアーティストではけしてできないようなコミュニケーションが彼の周りだけで起きる。鑑賞者は、自分の嘘に閉じこもったままリアルな欲求をぶつけ、優越感を感じたまま自分をさらけ出し、とくいになる。嘘をついたまま大事なものを預け、気がいたら他人と交流している。

とてもとてもとても遠回りをして、アートの夢、対等とリアルは実現されているのだ。

とくいの銀行とは、そういうことだ。彼の作品は、アートに恐怖を感じる

人の気持ちを形にしたものなのだ。
僕は、彼と会うと、いつも、宮沢賢治の、
どんぐりと山猫の判決文を思い出す。
自分こそが一番偉いと主張し、話し合
いがまとまらなくなっている草原を埋め
尽くすどんぐりたちに、裁判官である
山猫は、

いちばんえらくなくて、
ばかりで、めちゃくちゃで、
てんでなっていないくて、
あたまのつぶれたようなやつが、
いちばんえらいのだ。

と言い渡す。どんぐりたちは黙ってしま
い争いは収束する。

裁判としてはよい手だけれど、これが、
会議だとしたらどうだろう？
どんぐりたちの活動は封じられてしま
うだけではないか。

ところが、もし、ここに深澤くんがいる
なら、ちがう可能性が開ける。
彼は、きつと、おずおずと、目を見開き
ながら手を挙げ
「えー、じゃあ、ぼくがいちばんです
かー」
というだろう。そして、さらにそれを、

万人が受け入れるだろう。
こうして、民主主義的な自治がはじま
る。深澤は、実在するイーハトーブ
なのだ。

僕は彼の作品を評価するために、強度
の反対語として弱度という概念を提
案したい。グールドが強度を孕んだ
逃走の線ならば、深澤は弱度を露呈
して逃げ遅れた点である。すなわち、
私たち都市生活者の肖像だ。彼の作
品は、それでも正気を保つことが可
能だと、にやにやと微笑みかけてい
る。

これから、いろんな大人が、彼をしや
んとさせようとしたり、コンセプトを明
確にさせようとしたり、現場のリアルを
伝えようとしたりするにちがいない。
もったいないことだ。彼の弱度の点の
正気を、とくいの銀行に預けておいて
いただきたい、と僕は切に願う。

おわりの言葉

どこかで見たことのある風景

深澤孝史（とくいの銀行 頭取）

とくいの銀行の営業は、それほど頻繁にひきだしがおこなわれているわけではないけれど、月に1回くらいは誰かの「とくい」がひきだされています。

とくいの銀行のひきだしイベントの様子は、なんとなくどこかでみたことのあるような景色だなあとよく思います。

元看護師さんの「とくい」がひきだされて健康チェックがおこなわれていたり、趣味の工作の教室が始まったり。様々な人のとくいが交差し刺激し合って、漠然といままでみたことのないような新たな団地がつくれたなら、なんて思ったりしています。

この「とくい」とあの「とくい」を組み

合わせたらこんなことができるかも、と考えるのは面白いです。

団地の人がそんなふうに分人たちの人的資源を客観的にみて運用しだしたらいいなあと思います。

でもわざわざそんなことを企画しなくても、活動していて自分自身が「キューンとくるもの」は、どこかでみたことがあるような、当たり前前の景色が生まれているときだったりします。

それは、誰かが必要としていて、誰かに必要とされていてという当たり前だけど大切なことが、この団地ででっあげた銀行で実現している瞬間でもあります。

もしかしたらこのどこかでみたことあ

る風景が出現することはけっこう大事なことなのかもしれないあとと思っています。

どこかでみたことあるものと簡単にいいましたが、ここに住む人たちのそれぞれの生き方や特性がどの「とくい」にも端的にあらわれているんじゃないかなと思っています。

それぞれの人の微妙に違う日常やその人にとっての当たり前な活動を交換することがとくいの銀行だとするのならば、ここでつかわれている「とくい」は、「得意」というよりはそれぞれの「特異」といった方が近い意味合いのように思います。

当人にとっては当たり前なことでも、

他の人からみればその人の固有の特性と思えることがいろいろあります。

そうしたものがそれぞれの生き方、暮らし方を方向づけているのかもしれないません。

すでに用意された仕組みありきで生き方を考えるのではなく、それぞれの固有の特性が重なり合うところから自分たちの世界を築いていくことができるのなら…とくいの銀行を営む目的があるとしたらそなんじゃないかなあと思います。

そんなことを思いながらもゆるゆるでグダグダなイベントや運営を続けていけたらと思っています。



▶ とくいの銀行 頭取紹介

深澤 孝史 (ふかさわ・たかふみ)

1984年山梨県生まれ。美術家。中心市街地で様々な活動や場が障害物となるマラソンコースをつくる「しょうがいづつマラソン 2012」(2012年 浜松市)、非常時を表現活動に翻訳する「非常美術倉庫」(2012年 十日町市)、通貨のかわりにとくいなことを交換できる銀行を運営する「とくいの銀行」(2011年～ 取手市 / 2013年 山口市)など様々な現場で日常やその世界の常識を再設定するプロジェクトを主に展開。

▶ とくいの銀行 銀行員 / スタッフ紹介 (2013年時点)

足立 真悟 (銀行員・文筆業)

後藤 みちか (銀行員・グラフィックデザイナー)

つかだ だいき (銀行員・小学生)

はるまき (銀行員・小学生)

長谷川 光子 (銀行員・「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

黒騎士 (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

添田 恭子 (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

額賀 百合子 (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

橋本 三千彦 (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

藤 由子 (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

神矢 しづい (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

飯塚 靖子 (「いこいの+Tappino」ボランティアスタッフ)

田中 魁 (通帳イラスト・中学生)

川本 祥子 (とくいの銀行担当スタッフ・取手アートプロジェクトスタッフ)

羽原 康恵 (取手アートプロジェクト事務局長)

イノウエ みゆき (「いこいの+Tappino」スタッフ・アーティスト)

遠藤 由子 (取手アートプロジェクトスタッフ)

奥村 圭二郎 (取手アートプロジェクト事務局長補佐)

金子 千恵 (取手アートプロジェクトスタッフ)

小林 えつ (取手アートプロジェクトスタッフ)

清水 展生 (取手アートプロジェクトスタッフ)

馬場 和音 (取手アートプロジェクトスタッフ)

とくいの銀行
ATM団地



増補版発行にあたって

深澤孝史（とくいの銀行 頭取）

『とくいの銀行 なんとなく開業マニュアルブック』を2013年に発行して10年が経ちました。

その間、とくいの銀行の活動を知って関心を持ち開業したいと考えて実際に開業した方たちがいます。

そうした人たちの活動を知ってもらうことで、さまざまな場所に合わせた銀行の運営の方法をより具体的に知ってもらえるのではないかと考え、いわば色々な人と場所での実践編を追加して増補版を出すことにしました。

2011年のとくいの銀行の開業後、東日本大震災をはじめに多くの災害が毎年のようにおき、2020年にはコロナ禍がはじまり、ウクライナ戦争、ガザの虐殺、さらに2024年の1月に発生した奥能登地震など、さまざまな災害や疫病、戦争などが起き、気がつくとも日常を続けるということがまるで奇跡とを感じるような時代になってきました。さまざまな環境の変化の中で、それぞれが住んでいる地域の生活の中にこそ、その場の歴史性や環境の特性をどんどん取り込んでいき、さらに個人の「とくい」をつなぎ合わせたふるまいが重要になっていくように思います。

とくいの銀行が、そうした人々のふるまいを可視化していき、共有していく一つの助けに今後もなっていくといいなと思います。

この地域には何も無い、私には何も得意なものはないという言葉をよく聞きますが、当事者からすると特異性が当たり前前に溶け込みすぎて自分では気づけないだけのことがほとんどです。銀行員の最初の仕事は、当人が気づいてない「とくい」なことを言葉にして共有していくことから始まります。この本を読んで、ぜひあなたもちょっと変わった銀行員になってみてください。

支 店 紹 介 編

続・がんばれ! とうどり君! 第1話

再開! とうどり君!

とうどり君 「みんなひさしぶり、僕はとうどり君。
とくいぬ君との別れから10年。
あれから色んなことがあった。」

とくいぬ君 「ひさしぶりワン、とうどり君!」

とうどり君 「え?! その声は、とくいぬ君!! どうして!?!」

とくいぬ君 「とくいの銀行が10年続いたことを記念してとくい神様が特別にも
う一度僕の精神をこの世界に呼び戻してくれたんだワン。
それもこれもみんながとくいの銀行をゆるゆると続けてくれたおかげだワン。」

とうどり君 「そうだったんだね! 嬉しいよ、えーん!!
この10年色々なことがあったんだ。」

とくいぬ君 「うんうん、ぜひ聞かせてワン!」





ななつぼし商店街支店こども銀行員営業風景



ななつぼし商店街支店通帳



札幌支店 since1869 に併設された「札幌市開拓資料館」





ななつぼし商店街支店は、実際にある山口市中心商店街のみなさんにお店の業種とは違った「とくい」をあずけていただき、山口市中心商店街をとくいの経済圏でできた想像上のななつぼし商店街というもう一つの視点で捉え開設された支店です。とくいの銀行は商店のとくいをあずかり運用することでとくいが流通するまちづくりを目標に、近隣住民、大学生、小学生などさまざまな人たちが銀行員となって、さまざまなイベントの企画、準備、運営などをおこない、もう一つの商店街を活性化していきました。

運営期間	2013年7月6日～12月1日
開業のきっかけ	山口情報芸術センター（YCAM）10周年記念祭で実施されたコンペティション「LIFE by Media」の受賞プロジェクトとして開催
支店の場所	山口市中心商店街の空き店舗
運営メンバー	YCAM 有償ボランティア、地元の小学生等
ちょとく件数	888件
ひきだしイベント件数	55件
支店長	頭取兼任

頭取の運営コメント

とくいの銀行にとって最初の大きな支店開業のプロジェクトでした。YCAMの有償ボランティアの方や山口周辺で文化活動をしている方、大学生や小学生、商店街の方々それぞれの視点でとくいの銀行の活用や理念について思考を巡らせながら積極的に関わってくれたおかげでさまざまな活動が派生、交差していきました。

会期終盤に「演劇：200年後のななつぼし商店街」を開催し、銀行の営みを日記的、批評的に振り返り、山口市商工課から継続の依頼もきていましたが、ななつぼし商店街支店を閉店することを決定づけました。



▶ ひきだしイベント抜粋紹介

コーラのいっきのみバースデー大会

小学5年生のりゅうたろう君の「コーラのいっきのみ」のとくいを商店街の呉服屋さんの藤本さんがたまたま誕生日にひきだしたことがきっかけで開催されたコーラのいっきのみ大会。



自転車修理のそごう

呉服屋のそごうの藤本さんがあずけた「自転車修理」を、幼稚園の頃乗っていた自転車を整備して弟にゆずりたいとのことで山城くんがひきだして開催されました。いつもの商店街では呉服屋ですが、とくい経済圏の視点で見ると呉服屋さんは自転車修理屋さんになります。



官能小説ナイト

東京の美術大学の学生の大柿さんがあずけてくれた「**女子アナの声で官能小説を読みます**」を集団歩行訓練代表の谷さんがひきだして企画された官能小説ナイト。内容が公的なイベントとしてふさわしくないという声が出て一時、開催が危ぶまれましたが、2人だけのコミュニ



ケーションを成立させるための場を参加者が支えているという構図からつくる公共空間というとくいの銀行のコンセプトが逆に明解になった歴史的なイベント。

ななつぼし神社

女子大生の原田さんが、福岡の有名な神社の神職を務める木下さんの「**お祓い**」のとくいをひきだし、とくいの銀行が1日だけ神社になりました。鳥居や手水舎、狛犬、おみくじ、神輿などをみんなで作ったり、原田英莉厄除開運祈願祭を執り行いました。パフォーマンスの奉納を行ったあと、商店街を神輿で練り歩きました。



レゴリンピック

子ども銀行員の間でレゴがはやりだし、銀行員のとらちゃんが「**レゴ**」をあずけ、別の銀行員のまりちゃんがそれをひきだしたことで企画されたレゴリンピック。開会式の後、第1種目の「**クジで当てたお題を制限時間内につくる競技**」と第2種目「**自由に制作し形の美しさを競う競技**」を行いました。「**審査**」がとくいのメディアアーティストの江渡浩一郎さんがオンラインで審査員を務めました。



ハロウィンアイス早食い大会

猫おじさんに林さんの「**アイスの早食い**」が引きだされ、ハロウィンも近いので、お化けのマスクをかぶってアイスの早食い大会を開催しました。段ボール製のマスクを被って行ったことで誰が勝つかわからない白熱した戦いになりました。



ガンダミューン

とあるインターネットライブストリーミングからインスパイアされてはじまった非公式ガンダムイベント。このイベントから派生してガンプラでとくいの銀行をドキュメントしていく《**とくいの銀行ガンダム**》が誕生しました。



演劇：200年後のななっぼし商店街

三坂さんによって谷さんの「**演劇サポート**」が引きだされ、複数回のミーティングを重ね、商店街全体を使った演劇が上演されました。

●あらすじ

ある日、魔法によって頭取がカモにされてしまいその呪いを解くために必要なのは、過去のひきだしイベントを巡り「たいせつなこと」を集めてくることだった。過去を振り返っても呪いは解けないと考えた人たちはとくいが流通している未来の商店街に向かった。「たいせつなこと」を集めるとガンダムが完成し、ガンダムに乗って頭取はカモのまま浜松に帰っていき、ななっぼし商店街支店は閉店することになった。



▶ とくいの銀行 ななつぼし商店街支店 年表

.....

- 2013年4月 山口情報芸術センターが主催するYCAM10周年記念祭の公募企画「LIFE by MEDIA」受賞 とくいの銀行山口始動
- 2013年5月21日 まえまちアートセンターに出張営業
オアシスどうもんにてとくいの銀行山口説明会
- 2013年5月24日 山口大学人文学部説明会
- 2013年5月25日 市民会館にて説明会
LIFE by MEDIA 説明会
- 2013年5月27日 ATM 完成
てとととさん説明会
サポランテにて説明会
ひきだしイベント「みなとさんと商店街」
- 2013年6月22日 商店街地図づくりワークショップ vol.1
- 2013年6月23日 銀行員募集説明会
ひきだしイベント「足のサイズ計測所」
- 2013年6月24日 藤川先生講義にて銀行紹介
ひきだしイベント「DQ 平野のラジオのマネー vol.1」
インターナショナル説明会
- 2013年6月25日 ひきだしイベント「美容の会」
- 2013年7月6日 とくいの銀行ななつぼし商店街支店正式開店
開業式→くす玉工作
第1回ななつぼし商店街ツアー
- 2013年7月13日 **ひきだしイベント「コーラのいっきのみバースデー大会」(→ P.57)**
- 2013年7月14日 ひきだしイベント「DQ 平野のラジオのマネー vol.2」
- 2013年7月19日 インターナショナルひきだしパーティー @ 山口大学金曜交流会
- 2013年7月20日 **ひきだしイベント「自転車修理のそごう」(→ P.57)**
とくいの銀行イマイチ支店開業説明会
- 2013年7月24日 ひきだしイベント「ルービックキューブエムラ」
- 2013年7月25日 ひきだしイベント「DQ 平野のラジオのマネー vol.2.5」
- 2013年7月26日 さぼらんで主催子育てイベントに参加
ひきだしイベント「プラネタリウムドームづくり」「商店街ツアー」「仮面ライダーショー」「10秒スケッチ」
- 2013年7月27日 ひきだしイベント「フランス語講座」
- 2013年7月28日 **ひきだしイベント「ガンダムミュージックナイト」(→ P.59)**
- 2013年7月29日 ひきだしイベント「おしゃれ盆栽」
- 2013年7月30日 ひきだしイベント「メガネのふくだデザイン事務所」
- 2013年8月2日 ひきだしイベント「幕末教室 TV」
ひきだしイベント「自転車修理のそごう」
- 2013年8月6日 ひきだしイベント「30分DJ音楽パーティー」@ てととと
着ぐるみのひきだし

- 2013年8月14日 ひきだしイベント「きごしムービー」
- 2013年8月16日 ひきだしイベント「デコクッキーティーパーティー」
- 2013年8月14日 ひきだしイベント「消しゴム戦争」
キャンペーンに動画編集がとくいな犬間君を派遣(20日まで)
- 2013年8月21日 **ひきだしイベント「官能小説ナイト」(→ P.58)**
- 2013年8月25日 ひきだしイベント「プラネタリウムドーム工作」
- 2013年8月26日 ひきだしイベント「新幹線の絵をかこう」「ヘアメイクサロン」
- 2013年8月27日 ひきだしイベント「山口の電車自由研究」「DQ 平野のラジオのマネー vol.3」
- 2013年8月28日 ひきだしイベント「ディズニーホームパーティー」
- 2013年8月29日 ひきだしイベント「四ツ葉のクローバー探し」「DQ 平野のラジオのマネー vol.4」
- 2013年8月31日 **ひきだしイベント「ななつぼし神社」(→ P.58)**
- 2013年9月1日 ひきだしイベント「古文書解読ネット電話相談室」
- 2013年9月13日 ひきだしイベント「交換ノートで人生相談」
- 2013年9月15日 **ひきだしイベント「レゴリンピック」(→ P.58)**
- 2013年10月26日 **ひきだしイベント「ガンダミュンII」(→ P.59)**
- 2013年11月2日 **ひきだしイベント「ハロウィンアイス早食い大会」(→ P.59)**
- 2013年11月4日 演劇ミーティング.(他 7.11.14.16日)
- 2013年11月7日 ひきだしイベント「ちょっとしたことを詩にする会」
- 2013年11月10日 ひきだしイベント「弦楽器コンサート」「ねるねるねるね百景」
- 2013年11月11日 ひきだしイベント「Tシャツリメイクワンピース」
- 2013年11月17日 ひきだしイベント「フランス人ピエールときごさんのフランス語茶会」
- 2013年11月24日 **ひきだしイベント「演劇：200年後のななつぼし商店街」(→ P.59)**
- 2013年11月25日 ひきだしイベント「タロット占いの会」
- 2013年11月26日 ひきだしイベント「フランス人とどら焼きの会」
- 2013年11月30日 ひきだしイベント「仮面ライダー変身レクチャー会」
- 2013年12月1日 とくいの銀行ななつぼし商店街支店 閉店式
藤本さんによるジーパン修理完成
萌絵完成
商店街のハロウィンイベントに気ぐるみ派遣
ライオンメリーさん派遣イマイチとパプローブ



札幌国際芸術祭2014のアート×ライフの一環として開設されました。

札幌支店は、「演劇：200年後のななつぼし商店街」の後に頭取が1869年の北海道開拓期にタイムスリップしてひらいた銀行です。とくいがひきだされることで札幌の歴史が変わり、古くて新しい風習がたくさん生まれました。それらを収集保存した「札幌市開拓資料館」も併設されました。

運営期間	2014年7月19日～9月28日
開業のきっかけ	札幌国際芸術祭2014（SIAF）に招聘されたため
支店の場所	札幌市大通公園札幌市資料館2階展示室内
運営メンバー	SIAF ボランティア、旧ななつぼし商店街支店スタッフなど
ちよとく件数	1724件
ひきだしイベント件数	46件
支店長	頭取兼任

頭取の運営コメント

200万人規模の大都市での運営ははじめてで、これまでの運営との違いも多かったです。

立地が大通り公園の端に位置する札幌市資料館内ということで、市街地で隣接するコミュニティもなく、広く札幌市の人たちと関わるといのもでした。ちょっと件数も過去一番多く、イベントの頻度も高かったです。僕は本州出身なので先住民ではなく、開拓民＝植民者の立場として北海道と関わるとはできないと考え、とくいの銀行を通して開拓の歴史に反省しながら向き合うことをしてみようと考えながら運営しました。



▶ ひきだしイベント抜粋紹介

嫁入りたまねぎベーグル

新婚のこまちさんが、みほこさんの「酵母」のとくいをひきだして花嫁修業を行いました。育てた酵母でベーグルをつくって食事会を開き、札幌では花嫁修業を行うときは玉葱音頭を踊って祝う風習があるので玉葱櫓を囲んで踊りました。



大友堀流しうどん

たかひろさんの「流しうどん」のとくいを近所の前田家が引き出して開催が決定。札幌で流しうどんをする際は、札幌の開拓の礎となった創成川の原型である大友堀の形をした流し台を使い工事を指揮した大友亀太郎を祀る風習があります。1度目は天神山アートスタジオで、2度目は札幌市資料館で実施しました。



開業式&鮭皮カントリー

鈴木さんの「カントリーダンス」のとくいを守實さんがひきだしてオープニングイベントにしました。

北海道ではカントリーダンスを行う際は鮭皮でつくったハットをかぶる風習があります。



夏休み工作 銭函貯金箱

5万円貯めたい猪熊さんが平岸に住む小学生のせいのすけ君、こうのすけ君のとくいと、銭函に住む小牧さんの「電子工作」のとくいをひきだして「銭函貯金箱づくり」を行いに、小樽市銭函までいきました。

銭函はアイヌが住む時代から鮭漁の場所として栄え、その後『ニシン漁で栄えた時代には各家庭に銭箱があった』という伝説が残ります。小樽で工作をする時はこの銭箱にちなんで貯金箱をつくる風習があります。



馬とオオカミがいっしょにいる音楽会

大浦さんがなりたさんの「趣味の馬頭琴」をひきだして開催。南区真駒内にあるエドウィン・ダン記念館でおこないました。エドウィン・ダンは日本に酪農畜産の技術を導入したアメリカ人で、24歳で日本にやってきました。その過程で馬を食べてしまうエゾオオカミに神経毒のストリキ



ニーネをませた肉を撒き、絶滅の一因をつくった人物としても知られています。ダンサーの櫻井ヒロさんも迎えて狼に扮してもらい馬頭琴の演奏に合わせて狼と馬が共存する音楽祭を開き、合わせて大下さんによるオオカミレクチャーも行いました。

オパinya 4 コママンガ同人誌をつくる会

20年間オリジナルの4コママンガ「opanya」を連載し続けているたけしさんが、小学生の女の子の「4コママンガ」のとくいをひきだして「オパinya 4コママンガ同人誌をつくる会」を開催。

つくった漫画はまとめて、1977年から2002年の期間に札幌市教育委員会編集で北海道新聞社より100巻出版されたさっぽろ文庫の新刊「札幌とオパinya」として発表しました。



人生ガンプラ

山口のガンダムミューンの精神を密かに受け継いだイベント。

札幌には多くの石碑が残されていますが、いつかガンプラを用いて碑をつくる風習が生まれ、ガンプラを改造して自分の人生をドキュメントしました。

《開拓ガンダム》もこのイベントで誕生。



札幌国際芸術祭 2159 ガイドツアー

川村さんが谷さんのとくい「お芝居・演劇を助けます」をひきだし、集大成イベントとして演劇作品を上演。札幌支店の活動を振り返りつつ、145年後の札幌国際芸術祭の作品として札幌の開拓の歴史をたどりました。



はなちゃんの誕生日会

札幌支店のクロージングイベントとして、銀行に関わってくれたはなちゃんの5歳の誕生日会を開催しました。

「似顔絵」、「カレーと沖縄バースデーランチ」、「バースデーなわとび大会」、「魚語バースデーソング」、「羊毛フェルトバースデープレゼント&キャンドル台づくり」、「バースデー草餅&ケーキ」、「琵琶法師バースデーソングライブ」、「バースデー靈感占い改めタロット靈感」、「バースデーいらないものプレゼント交換会」、「自閉症スペクトラムバースデーライブ」などたくさんのおくいをひきだして盛大にお祝いしました。



とくいの銀行 札幌支店 since1869 年表

- 2014年6月17日 ひきだしイベント「嫁入り玉葱ベーグル①酵母を育てる」(→ P.63)
- 2014年6月27日 ひきだしイベント「嫁入り玉葱ベーグル②ベーグルづくり&玉葱音頭」(→ P.63)
- 2014年7月6日 ひきだしイベント「大友堀流しうどん」(→ P.63)
- 2014年7月19日 札幌国際芸術祭 とくいの銀行 札幌支店 since1869 正式開店
開業式&ひきだしイベント「鮭皮カウボーイハットカントリーダンス」(→ P.64)
- 2014年7月21日 ひきだしイベント「人の顔をくま化する会」
- 2014年7月24日 ひきだしイベント「曼荼羅バステルアートお茶会」
- 2014年7月25日 ひきだしイベント「パフェを食べる会」
- 2014年7月27日 ひきだしイベント「火星開拓に思いを馳せながら薪割りをする会」

- 2014年7月29日 ひきだしイベント「天神山散歩」
- 2014年7月31日 ひきだしイベント「りんごをむいて食べる会」
- 2014年8月3日 本郷商店街ひきだしイベント
- 2014年8月8日 ひきだしイベント「人体エネルギー診断室」
- 2014年8月9日 **ひきだしイベント「夏休み工作 銭函貯金箱」(→ P.64)**
- 2014年8月12日 ひきだしイベント「天神山朝りんご散歩」
- 2014年8月13日 ひきだしイベント「キゴシムービー中山久蔵上映会」
- 2014年8月15日 ひきだしイベント「四ツ葉のクローバーをもらう」「大友堀流し公園」
- 2014年8月16日 ひきだしイベント「お笑い媒体論」
- 2014年8月17日 ひきだしイベント「人の顔をくま化したり、消しゴムハンコをつくる会」
- 2014年8月18日 ひきだしイベント「コロボックルを探していっしょに踊ろう」
- 2014年8月21日 ひきだしイベント「パフェを食べるの会 vol.2」
- 2014年8月24日 **ひきだしイベント「オパンヤ四コマ同人誌をつくる会」(→ P.65)**
スペシャルトーク3
- 2014年8月27日 ひきだしイベント「フラダンスを踊る会」
- 2014年8月28日 ひきだしイベント「あなたの話を本にする meeting」
- 2014年8月31日 ひきだしイベント「夏休み親子雪工作・第1回雪クッションづくり」
- 2014年9月2日 ひきだしイベント「うるおほえカラオケ」
- 2014年9月5日 ひきだしイベント「キッシュと一品持ち寄りパーティー」
- 2014年9月6日 **ひきだしイベント「人生ガンブラ」(→ P.65)**
- 2014年9月7日 ひきだしイベント「夏休み親子雪工作・第2回ダンボールカマクラブラネタリウム」「あやとりマジックショー」
- 2014年9月9日 ひきだしイベント「知事公館で子ども音楽遊びの会」
- 2014年9月10日 ひきだしイベント「ハデウォーク」
- 2014年9月11日 ひきだしイベント「せっけんづくりの会」
- 2014年9月12日 ひきだしイベント「土偶ぬりえの会」
- 2014年9月13日 ひきだしイベント「雪だるま造形教室」
- 2014年9月14日 **ひきだしイベント「馬とオオカミがいっしょにいる音楽会」(→ P.64)**
- 2014年9月17日 ひきだしイベント「メイクできれいになる会」
- 2014年9月18日 ひきだしイベント「あみあみ会」
- 2014年9月19日 ひきだしイベント「ウクレレチャーターコンサート」
- 2014年9月23日 ひきだしイベント「ビルの化石探しツアー」
- 2014年9月24日 銀行その後ミーティング
- 2014年9月26日 ひきだしイベント「朝活 DJ@ 昼 -DAYLIGHT DISCO-」
- 2014年9月27日 **ひきだしイベント「札幌国際芸術祭 2159 ガイドツアー」(→ P.65)**
- 2014年9月28日 とくいの銀行 札幌 since1869 閉店
ひきだしイベント「はなちゃんの誕生日会」(→ P.66)「草餅のレシピをおそわる」
- 2014年10月1日 ひきだしイベント「旅のスケジュールをつくってもら(4日まで)」

続・がんばれ! とうどり君! 第2話

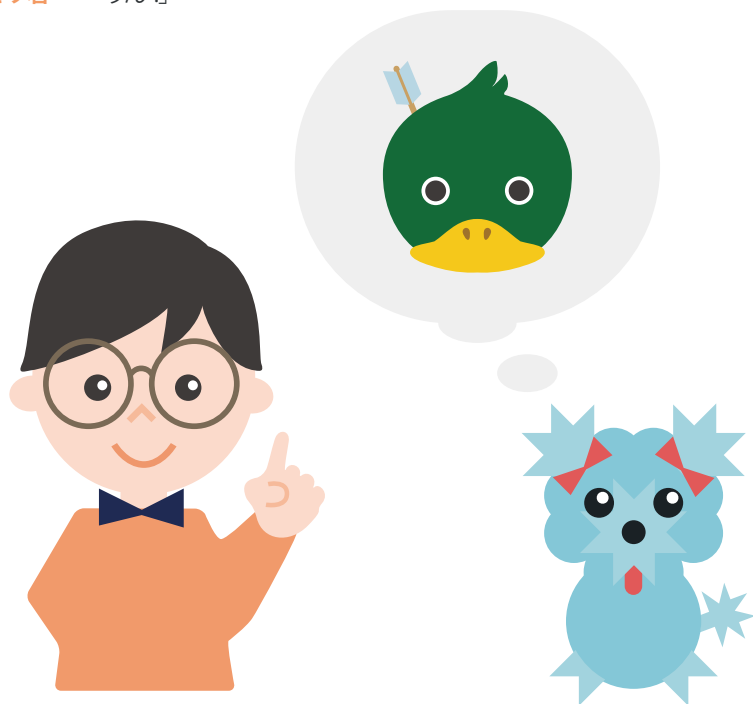
支店長誕生! とうどり君!

とくいぬ君 「カモになったり、タイムスリップしたりと色々大変なことをくり抜けながらいろんな支店を開いて頑張っていたワン、とうどり君!」

とうどり君 「うん、カモもなかなかよかったよ!
開く場所によって銀行の運営の様子もまるで違うので面白かったよ!
ところでとくいぬ君、ついにこの本を読んで、とくいの銀行の支店を開いた人たちが現れたんだ!」

とくいぬ君 「ええ! それはすごいワン、
ぜひどんな銀行を開いたのか教えてほしいワン!」

とうどり君 「うん!」





二子玉川出張所 ATM



富山市中心市街支店通帳 & ちよとくリスト



Boleh Bank: Local visual artists work



白老支店 ATM

▶ まちなか とくいの銀行 富山市中心街支店



松井支店長（当時大学4年生の松井さん）が、大学の卒業研究で地域通貨を実際に街中で流通させようと考えたことがきっかけではじまった支店。街の人に相談したところ、普通のお金と何が違うのか疑問を持たれて、指導教官にも難色を示され一度頓挫しかけたとき、ラジオから流れてきた「とくいの銀行」に惹かれ、ななつぼし商店街支店の視察へ。コンビニ、新聞社、チケットもぎり、家庭教師、飲食店などたくさんの方のアルバイトとフリーペーパー出版サークルでの繋がり、街中の顔見知りのネットワークを活かせば、とくいの銀行を開けると確信。第三セクター「株式会社まちづくりとやま」が開設していた学生支援の施設「まちなか研究室 MAG.net」の一角に開設。

運営期間	2013年11月末～2014年7月14日以降休業中
開業のきっかけ	大学の卒論で地域通貨の研究をしていた時にとくいの銀行を知った
支店の場所	富山まちなか研究室 MAG.net
運営メンバー	松井支店長（ときどき MAG.net スタッフ）
通帳作成	アルバイト先の方々（某お菓子屋勤務のスイーツ団長と先輩）
ちよとく件数	174件
ひきだしイベント件数	15件
支店長	松井遼子

支店長の運営コメント

とくいの銀行を半年ほど運営しましたが、新卒でスーパーに就職して銀行は休業中。体調を崩して6年で辞めましたが、スーパー時代に何百人ものお客さんと関わりレジ接客の全国大会でも入賞し、天職だと感じていました。しかし、これはあくまでデモンストレーションで脚本がある仕事なんて本当はありません。私が出た大会の年に、客役の演者がスーパーの従業員でなく、役者に変わりました。



従業員がやると物分りのいい人になるけれど、役者になると都合のいい客ではない客を演じてくれます。普段、毎日顔を合わせのお客さんも1人1人全員違います。退職後、今は地域の直売所で地元の生産者とお客様を繋げる仕事をしています。わざわざとくいの銀行を復活させなくても、今の仕事で似たようなことができていると感じています。

▶ ひきだしイベント抜粋紹介

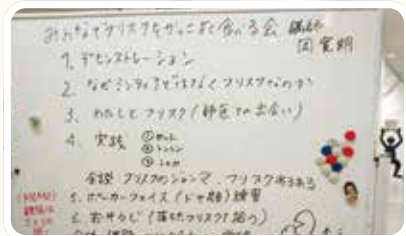
皆でフリスクをカッコ良く食べる会

大学生の岡くんが気づけたとくい「フリスクをカッコ良く食べる」をMAG.netの吉池さんがひきだし開催。自己紹介の後、それぞれ手元にそれぞれが自分のフリスクを準備し、講師の岡くんによるデモンストレーションを見た後にかっこ良く食べる練習しました。



●かっこ良く食べる方法

①セット：フリスクを親指と中指で挟んで横向きに持ち、中指でケースをスライドさせる。②トントン：人差し指で上部を軽く叩き、取り出し口に1粒だけ出す。③シャカ：伸ばした背筋と平行になるよう、素早くケースを口元へ。



名勝負は突然に～腕相撲～

東京出張帰りの平木さんが、大学生のてっしーさんのあずけたとくい「**腕ずも**うの相手します!」をひきだして開催。1分前まで見ず知らずだった2人が名乗ることもなく、ガチンコ腕相撲を始め、3分も続く激戦を繰り広げました。



男のための着物着付け講座

まちなか和装のスペシャリスト・牛島屋の武内さんがあずけたとくい「**男子に10分**で着付教えますヨ!」が大学生のお洒落DJボーイ・國頭くんにひきだされて開催。7名の男性が参加。目標は着物を着て帯を締めることとして「最初にお約束しますが、私は30分で皆様が帯を締められるようにして差し上げます」という武内さんの宣言のもと着付けに挑戦しました。



三味線でこきりこ節を弾いてみる会

お祭りや伝統芸能をこよなく愛する大学生のまいさんがあずけたとくい「津軽三味線が弾ける」が某お菓子屋勤務のスイーツ団長・樋口さんにひきだされました。2人は初対面にも関わらず、津軽三味線マンガ『ましろのおと』の話題で大盛り上がりでした。太棹のまいさんを先生にして、参加者の皆さんは中棹の三味線を持ち「こきりこ節」を練習しました。



街なかを詠もう

大学生の長沖さんが自分であずけたとくいを自らひきだし、街なかをテーマにした短歌披露大会を行いました。参加者は街なかをテーマにした短歌を1首以上用意し、1人ずつ作者に詠みあげてもらい、その歌の背景を語り合いました。

これやこの ゆくもかえるも 別れては
ドラマ溢れる これぞパノチカ

子がせがみ 良いところ見せると はりきる父
気合い十分 腕はプルプル

中心部 電車にゆられ 祖母と行く
いつも同じ あの日の姿

まちあわせ たまたま会って 盛り上がり
気付いてみれば 待ち人来らず

商品券 まってましたと はりきる母
子はうわのそら あやつり人形



とくいの銀行 富山市中心街支店 年表

2013年9月13日	ひきだしイベント「交換ノートで人生相談」
2013年10月1日	ひきだしイベント「秋の民謡教室&お月見会」
2013年11月	まちなか とくいの銀行 富山市中心街支店開設(4月休止)
2013年11月24日	ひきだしイベント「名勝負は突然に～腕相撲～」(→ P.72)
2013年12月1日	ひきだしイベント「英語ときどき旅話とところにより円周率」
2013年12月2日	ひきだしイベント「山梨の美味しい蕎麦屋 概論」
2013年12月6日	ひきだしイベント「皆でフリスクをかって良く食べる会」(→ P.71)
2013年12月26日	ひきだしイベント「オススメの本を紹介する会」
2014年1月12日	ひきだしイベント「旅の思い出を語り合う会」
2014年1月19日	ひきだしイベント「スイーツ会」
2014年2月7日	ひきだしイベント「男のための着物着付け講座」(→ P.72)
2014年2月26日	ひきだしイベント「三味線でこきりこ節を弾いてみる会」(→ P.72)
2014年3月2日	ひきだしイベント「ポケモン第5世代リーグ戦大会」
2014年3月27日	ひきだしイベント「就活生が人事担当者に教える、企業選びのポイント」
2014年4月28日	ひきだしイベント「ワンコインランチ紹介」
2014年5月16日	ひきだしイベント「とくいの銀行頭取 深澤孝史氏 富山支店視察の巻」
2014年6月12日	ひきだしイベント「街なかを詠もう」(→ P.73)

▶ とくいの銀行 二子玉川出張所



スルガ銀行二子玉川支店／d-labo（2014年から2020年まで営業）内にとくいの銀行ATMを設置。d-laboスペースにくる顧客を中心にとくいをあずけてもらっていました。

運営期間	2016年6月25日～12月22日
開業のきっかけ	とくいの銀行札幌支店 since1869 に参加したこと
支店の場所	スルガ銀行二子玉川支店／d-labo 内
運営メンバー	二子玉川支店にいた銀行職員
ちょとく件数	17件
ひきだしイベント件数	0件
銀行員	島田一宏

銀行員の運営コメント

当時、アートの展示やイベントをものすごくたくさん見に行っていました。面白そうなことをやっている人のもとを訪ねて話を聞いたりワークショップに参加したり、また、一緒に街に出てイベントをつくったり(多い時には月8企画程度)など、そのうちのひとつとしてとくいの銀行をやってみました。地域やそこで暮らす人達の日常に新たな彩りが生まれるキッカケの場に d-labo 二子玉川をしたく、「そもそも銀行ってなんだったかな、地域における支店の役割ってなんだったかな」と考え、経済的な利益だけでなく、地域の人やってみたくて見つけるクリエイティブな場所、ワクワクする関係性が生まれる場所に銀行がなかったらいいなと考え、とくいの銀行をはじめました。とくいの銀行のATMの隣に本当のATMがあって、お金を預けたり引き出されたりしていました。お金にも色があって、知らない誰かの記憶や思いが内包するお金を別の知らない誰かが知らず知らずの内に引き出している。気づかないうちに知らない人同士が関係し合っているんです。そして、預けた人の思いとは別の用途に使われています。あったかいような、交差点のような。中身は違っても「あずける」「ひきだす」という行為は同じなんじゃないかなと思っています。



▶ Boleh Bank (とくいの銀行 シンガポール支店)



「Drama Box」というコミュニティアートプロジェクトも手がける劇団が運営。カシア地区と呼ばれる低所得者層の住む18階建ての高層住宅の一階の玄関にイベントの時に仮設される。今後独自のスペースを持っていきたいと考えている。

シンガポールは多民族国家で、さまざまな出自の人が生活しているので、マレー語で「できる」を意味し、だれもがわかる「boleh」という言葉を採用し、「Boleh Bank」と名付けた。

運営期間	2023年10月～
開業のきっかけ	2022年にシンガポール美術館から低所得者層が住む地域での活動依頼があり、ジャネット・ピライ（インディペンデント・リサーチャー／マレーシア）氏からとくいの銀行のことを聞き、自身のアートプロジェクトの実践に活用できると考えたため
支店の場所	カシア地区18階建住宅の玄関
運営メンバー	Drama Box（劇団）、Arts In The Commons: Dakota Cassia project（KOH HUI-LING、Auderia TAN、HAN Xuemei、LIEW Jiayi）、有償ファシリテーター、ボランティア
ちよとく件数	34件（2024年3月現在）
ひきだしイベント件数	1件（2024年3月現在）
支店長	KOH HUI-LING（Drama Box）

支店長の運営コメント

シンガポールのダコタ地区は、市街地の中心部にある最も古い低所得者層の住む地域で、2016年に再開発のために全住民が退去し、そのほとんどが、18階高層住宅のカシア地区に移動しました。私たちはそのカシア地区にとくいの銀行（Boleh Bank）を立ち上げました。住人の皆さんは政府やNGOから十分な支援を得てはいますが、自己肯定感が低く、受け身なことに慣れてしまっています。私たちはとくいの銀行の仕組みを活用し、住民自身や相互に価値を見出し、お互いを巻き込みながら有意義な人生を送れるようになるように願っています。

▶ とくいの銀行 白老支店



北海道白老町の商店街になんとかカフェを開くことになった田村さんは、お客さんのみなさんの話を聞いていると、それぞれの色々な要望や希望をつなげられるのではないかなと思うようになりました。カフェを運営しながらさまざまなイベントをこれまでも開いてきており元々文化センターのようなカフェでしたが、とくいの銀行というすでにある仕組みを使えばよりうまくできるかもしれないと思い、ちょうど人材バンク的な活動を始めようとしていた白老町の社会福祉協議会の職員と合流し支店が開かれました。2ヶ月に1回のペースでひきだしイベントを開催。

運営期間	2023年1月19日～
開業のきっかけ	昔駅にあった掲示板の役割みたいに自分の運営しているカフェを使えないかなと考えていた時にとくいの銀行のことを知った
支店の場所	白老市商店街の結カフェ内にて開業／向かいに室蘭信用金庫・苫小牧信用金庫・北海道銀行がある白老ウォール街
運営メンバー	地域の社会福祉協議会のスタッフ
ちよとく件数	160件（2024年3月現在）
ひきだしイベント件数	7件（2024年3月現在）
支店長	田村尚華（カフェ結店長）

支店長の運営コメント

元々東京出身で、グラフィックデザインの仕事をしながら、アロマセラピスト、アクセサリーづくりの活動をしていました。アロマセラピストの仕事で白老町に移住が決まったが、会社を辞めることになったところ、駅前の空き店舗を紹介してくれた方がいました。

当時の白老町はカフェが少なく、夜に集まったり、話をしたりする場所があまりなかったので、カフェをオープンしました。

5年カフェを運営していく中で、さまざまな要望を受け取り、色々なワークショップやイベントをしてきましたが、私に相談するというよりは、仕組みに相談する安心感があるといいと思い、銀行を開きました。世界平和を目指して頑張ろうと思います。



▶ ひきだしイベント抜粋紹介

開行式 & ひきだしイベント

「2歳児と触れ合えます」「防災についての知識をたのしくお話します」「ハンドマッサージします」「胃カメラの楽な飲み方教えます」「身長が高くてトクをしたこと、損をしたこと教えます」「占います」「薬を使わないで便秘を治すコツ教えます」「ボードゲーム一緒にやります」「レトロゲーム機でライブします」など、1回目ということでたくさんひきだしたイベントを開催。



あつまれ！おとなも子どもも GAME しよう！

引き出したのは「昭和の遊び」や「ボードゲーム」「カードゲーム」のとくいです。小学生から大人まで、みんなでゲームを楽しみました。



認知症世界の歩き方講座&認知症予防のセルフケア

白老町社会福祉協議会とのコラボイベント。「認知症世界の歩き方講座」「食事」「アロマ」などのとくいをひきだし、認知症に関する学びを深めるイベントとなりました。



さんぽとものづくり

白老町社会福祉協議会とのコラボイベント。「ミニチュアフード作ります」「なんでもものづくり」「さんぽに付き合います」のとくいをひきだし、白老の海岸のゴミ拾いをしたり遊んだりした後、ミニチュアフードや流木作品をつくりました。



とくいの食堂

とくいの銀行流地域食堂『とくいの食堂』を開催しました。この食堂は「料理がとくい」という人のとくいを引き出して、料理を持ち寄ってもらう食堂。当日飛び入りでの差し入れも募集したところ、たくさんの方が持って来てくださり、豪華な夕食になりました！



とくいの忘年会

「料理がとくい」、「音楽演奏がとくい」、「季節の飾りを作るのがとくい」といったとくいをひきだし、とくいの銀行流忘年会を開催しました。



▶ とくいの銀行 白老支店 年表

- 2023年1月19日 とくいの銀行白老支店開行式&第1回ひきだしイベント
- 2023年2月5日 ひきだしイベント「消しゴムはんこづくります」
- 2023年3月3日 BS よしもと「ワシんとこ・ポスト」に頭取と田村白老支店長出演
- 2023年3月30日 第2回ひきだしイベント「あつまれ!おとなもこどももGAMEしよう!」(→P.78)
- 2023年5月25日 第3回ひきだしイベント「認知症世界の歩き方講座」&「認知症予防のセルフケア」(→P.78)
- 2023年8月3日 第4回ひきだしイベント「さんぼとのづくり」(→P.78)
- 2023年10月9日 ルーツ&アーツしらおい 2023 ファイナルイベントにて「folklore(中南米の民族音楽)を演奏すること」「30秒BGM作ります」がひきだされる
- 2023年10月25日 第5回ひきだしイベント「とくいの食堂」(→P.79)
- 2023年12月22日 第6回ひきだしイベント「とくいの忘年会」

続・がんばれ! とうどり君! 第3話

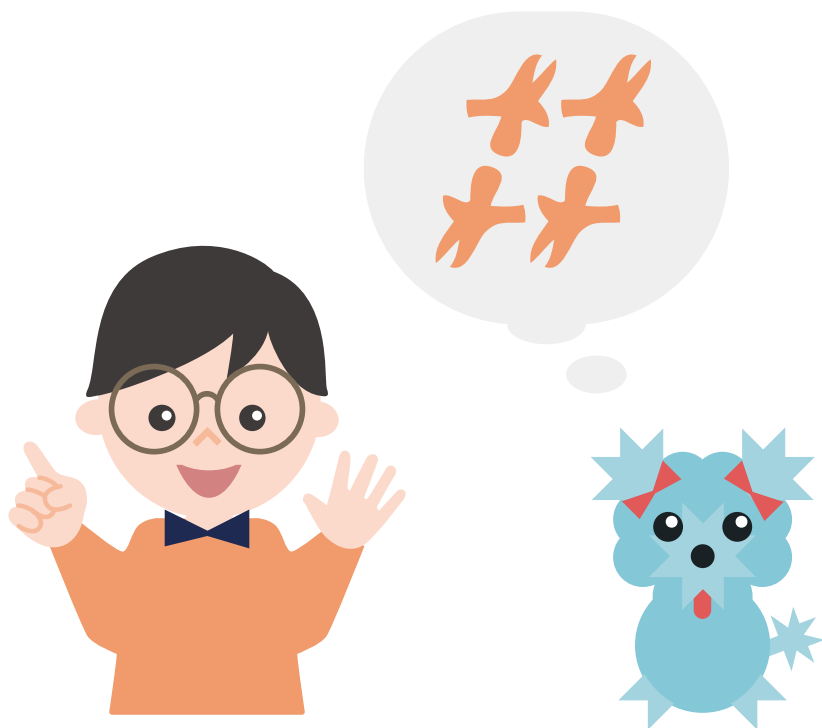
山あり谷あり! とうどり君!

とくいぬ君 「いろいろなとくいの銀行があつてとても面白かったワン!

とうどり君 「とくいの銀行はそれぞれの人生を映す鏡のようだね」

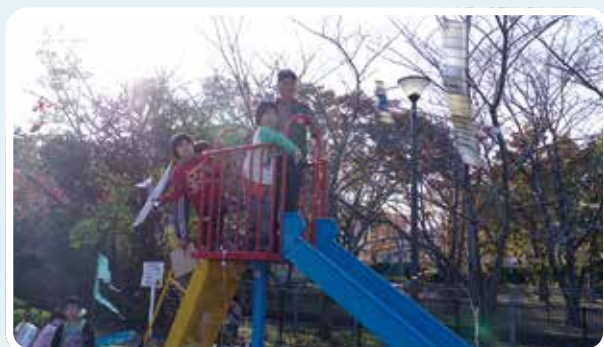
とくいぬ君 「ところでその後の本店はどんな活動をしていたワン?」

とうどり君 「いろんなひきだしがあつて楽しかったよ!
だけどコロナ禍で一時中断してしまったんだ。
それも徐々に治ってきて今はちょっとずつ動きだしているよ!」





団地ダンス



第2回ひきだそう会「井野団地生活祭」



井野本店 ATM 団地

▶ とくいの銀行 井野本店



2011年に取手市井野団地に開業した最初のとくいの銀行。団地のコミュニティカフェ「いこいの+TAPPINO」内に併設されています。

コロナ禍の影響で2020年から2021年にかけて、ほぼ店舗閉店状態にありましたが、2022年より日数と開店時間を縮小しつつ再開しました。

運営期間	2011年3月10日～
開業のきっかけ	あーだこーだけーだ再結成イベント
支店の場所	取手市井野団地 いこいの+TAPPINO
運営メンバー	添田恭子、取手アートプロジェクトスタッフ
ちょとく件数	677件（2024年3月現在）
ひきだしイベント件数	87件
本店店長	添田恭子

本店店長の運営コメント

「いこいの+TAPPINO」でボランティアをしている時、来所者さんたちの不満や疑問を受けて、2014年に銀行員に立候補しました。

とくいの銀行の仕組みを考えた深澤孝史頭取が、のんびりやりましょうという感じなので、多少お待たせすることはあっても無理せず進めています。

コロナ禍でオンライン引き出しを経験しましたが、特に「朝さんぽ」は、違う場所で散歩をしている人に繋がっていて面白い経験でした。人相手ですから、楽しいことばかりではないですが、誰もが楽しく笑顔で帰って貰うのが目標です。



▶ ひきだしイベント抜粋紹介

メダカ飼育見学

いこいのを飛び出して、取手でメダカのブリーダーをしている遠藤さんのお宅にお邪魔しました。我々が知っているメダカはニホンメダカといって絶滅危惧種で、繁殖させて2世以降は販売が可能とのこと。さまざまなメダカを交配させて新種つくりを目指しています。



ちょっとした事を詩にします

谷さんのとくいを黒騎士さんが引き出して開催。思いついた文を一行ずつ書いて、並べ替えたりしながら詩をつくりました。自分の想像をこえた詩ができる喜びを感じました。



韓流 cafe

「韓国語を使ってみよう」「韓国ドラマの挿入曲が好き」「ハンゲルを読みましょう」という韓国とくいを組み合わせて、いこいのを1日韓流にして営業しようというイベント。飲み物もこの日は3種類の韓国茶から選び、自分の名前をハンゲルにして書いたり、メドゥプという組紐のワークショップをしたり韓国を堪能しました。



第3回ひきだそう会「井野団地育児生活祭」

とくいの銀行にあずけられたとくいを同時に多数ひきだして、イベントを行うひきだそう会の第3弾「井野団地育児生活祭」開催。はじめて子どもや家族を対象に企画しました。12のとくいを巡って、全部体験するととっても素敵な景品がもらえました。「いきいき体操」、「アレルギー相談」、「かな文字書道」、「カラーゴムアクセ」など色々なブースを楽しみました。



俳句を詠む会

日下さんのとくいからはじまり、2回目以降は武藤さんが先生役となって恒例行事となった俳句の会。なんと回数を重ねて17回。気がつくと俳句のイベントしかしていない時期もありました。



常陸佐竹氏についての講演会

元新聞記者の富山章一さんのとくい「常陸佐竹氏についての講演」を銀行がひきだし開催。

水戸徳川のイメージ色の茨城ですが、常陸佐竹氏は約500年近く北茨城を治めていた一族。茨城を考える上で佐竹氏は切っても切り離せないことがよくわかり、頭取はこの翌年「常陸佐竹市」の市長にもなりました。



オンラインひきだしイベント「カメラ選びをお手伝いします」

2020年以降コロナ禍でいこいのが閉まってしまい、オンラインでひきだしイベントを開催。フォトグラファーの平塚さんのとくいが菅野さんにひきだされ開催。デジタル一眼、スマホなどどんなカメラを買ったらいいかの悩みの相談に乗りました。



野良ひきだしイベント「井野団地ょん (イノダンジョン)」

2021年、まだなかなかイベントは開催しにくい状態でしたが、野外だったら何かできるかということで「脱出ゲーム」のとくいを預けてくれていた高橋さんと、団地を知り尽くした黒騎士さんのペアが考えた団地を舞台にした脱出ゲームを開催しました。団地のさまざまな場所に隠された謎を解いて、最後に伝説の剣と記念撮影をしました。いつもの団地をちょっと架空の景色に変えてくれました。



とくいの銀行&いこいの+ TAPPINO12周年ひきだしイベント

コロナも徐々に沈静化し、いこいーのも週3日営業まで復活してきたこともあり、2011年生まれのとくいの銀行(3月生)、いこいーの+ TAPPINO(10月生)。12周年の記念とつなげてとくいをひきだしました。

「フリーコーヒー」「井野団地を茶室に見立てるワークショップ」「ハーモニカ演奏」「あなたに合ったストレッチ探します」「人物、イラスト」「ホラー映画を見る会」などを楽しみました。



▶ とくいの銀行 井野本店 年表

- 2010年12月 あーだ・こーだ・けーだ再集結
- 2011年3月7日 とくいの銀行誕生
- 2011年4月17日 とくいの銀行仮営業開始
- 2011年5月15日 **投資プログラム「長寿の秘訣おしえます」** (→ P.17)「アジアの影絵芝居」
- 2011年6月25日 とくいの君(とくいの銀行井野本店ロゴマーク)が切り絵で生まれる
- 2011年7月23日 井野団地ふれあい夏祭りに出店(24日まで)
- 2011年10月10日 通帳デザインのための団地絵画コンクール
- 2011年10月16日 「いこいーの+ Tappino」オープン
- 2011年10月17日 **投資プログラム「塚田さんの梱包バンド工作」** (→ P.18)
- 2011年11月5日 とくいの銀行通帳完成
- 2011年11月20日 投資プログラム「飯島さんウィリアムさんと団地を散歩しよう」/看板完成
- 2011年11月22日 ひきだしイベント「梱包バンド工作」/ちよとく揭示板完成
- 2011年12月7日 ひきだしイベント「ユニット独楽づくり」
- 2011年12月20日 **ひきだしイベント「お仕事のお悩みお聞きします」代行開催** (→ P.27)
- 2012年1月29日 銀行員募集説明会
- 2012年2月20日 **ひきだしイベント「ヴァイオリンサロン」** (→ P.22)
- 2012年2月21日 **ひきだしイベント「健康チェック」** (→ P.26) /とくいの銀行 ATM 完成
- 2012年3月10日 **ひきだしイベント「本物のパンづくり教室」** (→ P.25)
- 2012年3月11日 **ひきだしイベント「簡単なストレッチ講座」** (→ P.24)
- 2012年3月20日 **ひきだしイベント「まほうづくり」** (→ P.22)
- 2012年3月22日 ひきだしイベント「梱包バンド工作教室」
- 2012年3月23日 **ひきだしイベント「戦前戦後の話とアジアの影絵芝居」** (→ P.25)
- 2012年3月25日 とくいの銀行だより4月号発行
- 2012年3月26日 **ひきだしイベント「ヴァイオリンと津軽三味線コンサート」** (→ P.22)
- 2012年4月6日 ひきだしイベント「黒騎士さんのカードゲーム」
- 2012年4月22日 ひきだしイベント「本物のパンづくり」
- 2012年4月23日 ひきだしイベント「篠笛とオカリナコンサート」
- 2012年5月12日 **ひきだしイベント「《家族のテーマソング》つくります」** (→ P.21) (大地の芸術祭/十日町市) (13日まで)
- 2012年7月21日 井野団地ふれあい夏祭りとくいの銀行出張営業(22日まで)
- 2012年7月23日 **ひきだしイベント「韓国語講座」** (→ P.24)
- 2012年9月1日 銀行員募集説明会
- 2012年11月20日 **ひきだしイベント「パソコン修理」** (→ P.27)
- 2012年11月25日 **第1回ひきだそう会** (→ P.33)
- 2013年1月27日 頭取ワークショップ「マスクづくり」
- 2013年2月24日 **ひきだしイベント「お仕事のお悩みお聞きします」** (→ P.27)
- 2013年2月25日 ちよとく揭示板刷新

- 2013年5月12日 **ウォーキング井野に「ちくちく地区」の旗贈呈** (→ P.28)
- 2013年5月13日 ひきだしイベント「読書会—墮落論を読む—」
- 2013年5月30日 ひきだしイベント「風呂敷の包み方講座」
- 2013年9月29日 とくいの銀行 とく主総会 @ いこいの+ Tappino
- 2014年5月 井野本店 ATM 団地が完成
- 2014年6月14日 ひきだしイベント「外国の簡単なカードを使ってあそぼう!」「ちょっとした事を詩にします」(→ P.84)
- 2014年6月30日 **ひきだしイベント「韓流 cafe」** (→ P.84)
- 2014年11月23日 とくいの銀行第2回ひきだそう会「井野団地生活祭」
- 2015年3月14日 ひきだしイベント「春のミニ音楽会」
- 2015年4月16日 ひきだしイベント「詩吟」
- 2015年5月16日 **ひきだしイベント「俳句を詠む会」** (→ P.85)
- 2015年6月9日 ひきだしイベント「大正琴」
- 2015年7月14日 ひきだしイベント「竹をつかった音あそび」
- 2015年8月18日 **ひきだしイベント「常陸佐竹氏についての講演会」** (→ P.85)
- 2015年9月3日 ひきだしイベント「ウクレレの伴奏で唄いましょう」
- 2015年9月19日 サンセルフホテル「夜の太陽まつり」にてとくいがひきだされ参加
- 2015年9月26日 ひきだしイベント「小文間の野鳥を紹介します」
- 2015年10月1日 ひきだしイベント「ハーモニカ演奏会」
- 2015年10月26日 ひきだしイベント「クラリネットをのんびり聴く」
- 2015年12月7日 ひきだしイベント「ギター」
- 2016年2月16日 ひきだしイベント「油絵」
- 2016年3月12日 ひきだしイベント「哲学カフェ」
- 2016年4月5日 ひきだしイベント「ラビットホール・ドロップスであそぼう」
- 2016年6月16日 ひきだしイベント「ハーモニカ演奏会」
- 2016年6月16日 ひきだしイベント「チャオのハーモニカ演奏会」
- 2016年7月4日 **ひきだしイベント「メダカの飼育見学」** (→ P.83)
- 2016年8月16日 ひきだしイベント「ピクリマンのお話」
- 2016年8月25日 ひきだしイベント「バトエンで遊ぼう」
- 2016年8月26日 ひきだしイベント「ギター」
- 2016年10月3日 ひきだしイベント「ウクレレ」
- 2016年10月22日 ひきだしイベント「新人Hソケリッサ!《団地ダンス》」
- 2016年11月22日 ひきだしイベント「バントマイムレッスン」
- 2016年12月12日 ひきだしイベント「オカリナ」
- 2017年2月21日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2017年3月19日 **第3回ひきだそう会「団地育児生活祭」** (→ P.84)
- 2017年7月5日 井野団地夏祭りにてひきだしイベント「バルーンアート」「カラーゴムアクセ作り」「夏まつりフォトコンテスト」開催(30日まで)
- 2017年8月22日 ひきだしイベント「バトエン大会」

- 2017年9月13日 ひきだしイベント「色々、演奏します」
- 2017年9月19日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2017年10月3日 ひきだしイベント「台湾語の会話」
- 2017年11月13日 ひきだしイベント「考え事の整理」
- 2017年11月30日 ひきだしイベント「ハーモニカ演奏会」
- 2017年12月12日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2018年2月21日 ひきだしイベント「とくいのコンサート」
- 2018年3月5日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2018年4月26日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2018年6月29日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2018年8月17日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2018年10月5日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2018年10月14日 ひきだしイベント「囲碁」
- 2018年12月7日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2019年2月 とくいの銀行井野本店新 ATM 設置
- 2019年2月1日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2019年4月5日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2019年5月16日 ひきだしイベント「オカリナの演奏会」
- 2019年5月24日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2019年6月7日 ひきだしイベント「手話ダンス」
- 2019年7月5日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2019年7月18日 ひきだしイベント「皆で唄いましょう」
- 2019年8月30日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2019年9月11日 ひきだしイベント「海賊の話聞く会」
- 2019年11月1日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2020年1月17日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」
- 2020年2月27日 ひきだしイベント「紙芝居を上演します!」が新型コロナウイルスの影響で中止
- 2020年3月6日 ひきだしイベント「俳句を詠む会」が新型コロナウイルスの影響で中止
- 2020年3月15日 「すぞす★ひきだそう会 in 藝大食堂」が新型コロナウイルスの影響で中止
- 2021年5月 とくいの銀行ネットバンク開始
- 2021年5月3日 **オンラインひきだしイベント「カメラ選びをお手伝いします」** (→ P.85)
- 2021年5月9日 オンラインひきだしイベント「プロ野球の話をする」
- 2021年9月4日 「とくいの朝散歩」
- 2021年10月9日 「とくいの朝散歩」
- 2021年11月6日 **野良ひきだしイベント「井野団地よん (イノダンジョン)」** (→ P.86)
- 2021年11月7日 ひきだしイベント「ねんどで顔をつくる」
- 2023年10月22日 **とくいの銀行&いこいの+ TAPPINO12 周年ひきだしイベント** (→ P.86)
- 2024年3月24日 ひきだしイベント「ブックカフェ @ いこいの」

続・がんばれ! とうどり君! 第4話

ゆるゆる続くよ! とうどり君!

とくいぬ君 「とうどり君、そろそろ時間がきたみたいだ。
ひさしぶりに会えてとてもうれしかったよ。

とくいの銀行の色々な支店の活動や
とうどり君以外の人たちの活躍も聞けたし大満足だよ。」

とうどり君 「僕も会えてうれしかった、とくいぬ君!
銀行を続けていればまたきっと会えるよね!」

とくいぬ君 「きっと会えるよ! ではまたねー!」

とうどり君 「よし、またこれからもゆるゆると続けるぞ!」





∴ かんちがいの美学、めんどくさい公共

谷 竜一（詩人・演劇作家・芸術労働者／とくいの銀行ななつばし商店街支店・元銀行員）

そのときぼくは、山口の大学で留年を繰り返したあげくに、なんだかわからないが自分や世間が面白いだろうと思う演劇をやっていました。

それで、なんとなくごく一部では評価されて、でも大きな舞台でそれを表現したときに、なんだかちょっと違う……？ というか、「アート」に関するこつて、地域が変わるとぜんぜんちがってしまうことなんだな、と思っていたところでした。

自分の仕事にそれなりに評価はありました。それで生きていけないことはない気もしていました。でもちょっと、思っていたのと違うかも。

そういう風を感じていた時に、「とくいの銀行」と出会いました。

山口の支店で、銀行員としてかかわることになりました。

「演劇をつくることを助けます」

「ちょっとしたことを詩にします」

というような、とくいを預けました。

ぼくは、いま京都のアートセンターで、演劇やさまざまなアートの作家が、それをつくることを助けています。それでお給料をもらっています。

それは地域に愛されている施設で、でも近所にはそんなに広くは知られていなくて、そのくせ「アート 京都」とかで検索すると出てきてしまうような施設です。

もちろんそんな調子なので、この施設は興味を持ってもらえる人のすべてを、満足させることはできていません。

いま、書いていることは、なんの役にもたたないかもしれません。

ぼくのいまの仕事も、役に立っているのかどうかもよくわかりません。

なのにどうしてか、得意になって自分の「とくい」を引き出されて、いっしょに演劇をつくったり、詩をつくったりしたこと。そのとき会った人。街。こんなことでもなければ考えなかったこと。

を、いまだに思い出したりしてしまいます。そこに何かヒントがあるので、はと思っていたのかもしれませんが、今のところ、ほとんどのこととは関係なく、記憶の中でフワフワと浮かんでいます。

ふかさわさんが、「審査員の坂本龍一氏が『貨幣経済のオルタナティブになりえる』とってたけど、なんかそれかんちがいされちゃってる気がする」と言っていたことを。それで、ぼくもいっしょになってゲハゲハ笑っていたこと。

も、ときどき思い出します。そのときは、貨幣経済について、なにもわかっていなかったと思います。

今もいろいろ考えたけど、それほどわかっていません。わかっていないまま、それなりにお金をかせげるようになってしまいました。

理由はわかってないけど、なぜかできちゃった。

理由はわかってないけど、ちょっとやってみたい。

すでにやっちゃってるけど、まだ言えてない。

そういうのって、とてもめんどくさいです。

「呉服屋さんなのにパンク修理の話がたくさんきて、めんどくさいな。」

あ、「めんどくさい」はぼくの思い込みですけど。

ぼくも「演劇をつくることを助けます」をさっそく引き出されたときは、「めんどくさいな」とおもいました。でも、とくいなんだから、やらなくちゃね。というか、ついやっちゃう。それで、また別の人をまきこんで、めんどくさくなっちゃう。

でも、ちょっとだけ、やりたいことがあったんです。

誰にも言えないけど（だから、誰にひきだしてもらっても、よかったんだけど）、ちょっとだけあったんです。

だから、引き出してもらえてよかった。誰も知らないと思いついでるわたしを、ちょっとだけ、誰かに引きだしてもらってよかった。

（しらない「誰か」じゃないと困るよ、わたしそんなたいしたひとじゃないから。）

そこまでドラマチックではないにせよ、ぼくもまたちょっとだけ引きだされて、調子に乗って生きている。

▶ とくいの銀行 銀行員／スタッフ紹介 (2024年3月時点)

深澤 孝史 (頭取)

添田 恭子 (本店店長・いこいのボランティア・TAP サポーター)

田邊 佳奈 (銀行員)

高木 諒一 (銀行員)

黒騎士 (サポート銀行員)

遠藤 由子 (サポート銀行員・TAP スタッフ)

安富 奏 (サポート銀行員・TAP スタッフ)

長谷川 光子 (サポート銀行員)

羽原 康恵 (営業担当・TAP 包括ディレクター)

▶ とくいの銀行 ウェブサイト紹介

とくいの銀行の各ウェブサイトから、イベント情報やちよとくの確認、とくいのおあ
ずけ、ひきだしをすることができます。ぜひご利用ください。

また閉店した一部店舗については、WEB で記録をみることができます。

現在営業中



井野本店

www.tokuinobank.net



白老支店

tokuishirai.yukkerom.com



Boleh Bank (シンガポール支店)

hellocassiacrescent.wordpress.com

閉店



ななつぼし商店街支店

nanatsuboshi.tokuinobank.net



札幌支店 since1869

sapporo.tokuinobank.net

付 録

[食・料理]

- ワイン・日本酒・チーズに詳しい
- 紅茶について
- フリーコーヒー、コーヒーを飲む会、セミナー、
etc. コーヒーに関する事はお任せ下さい!
- おいしい豚汁をつくります
- とう分の摂取がおとくいです
- 食品の商品開発
- たらこをおいしく漬ける
- おいしいコーヒーの話がしたい
- スパイスから美味しいカレーをつくります!
- 韓国料理ができる

[音楽・うた]

- 音楽が作れます
- ムックルを弾くこと
- ピアノ
- 30 秒 BGM 作ります
- 歌を歌ってくださる人にコーラスをつけます。
- フルートと尺八の演奏
- 笑顔で楽しそうに歌うこと
- Music recommendations
- Sing English Songs
- 実はこの顔でピアノ弾けます

[趣味・特性]

- みんなの前で紙芝居と絵本が読める
- 一席できます (落語)
- とくいでもないけど海外旅行の話。
- 紅茶について
- お散歩に付き添います
- 笑うこと
- ねこのしつけ
- スパイダーマンの全身タイツを履いて遊ぶこと
- お腹をグーグー鳴らすこと、美味しく何でも食べる

- ラミィキューブ (ボードゲーム) 一緒にやります

[美術・デザイン・工作]

- けしゴムはんこ彫り
- 表現アートセラピー
- 動物のファンを使って陶芸をする
- 絵を描く
- デジタルでのイラスト作成
- 図工
- えをかくこと (うまいほうはない)
- 似顔絵描きます。ペットも OK
- 顔を描いたり、風景を絵にすること
- 茶室の設計

[美容・健康・精神]

- 胃カメラの楽な飲み方を教えます
- 東洋医学の話しんきゅう
- 目の検査
- 服選び + 美容
- 人の感情はなんとなく読めます
- 肯定する
- リラクゼーション、リフレクソロジー (足のみ)、
ハンドマッサージ (医療行為ではありません)
- プレインジム (脳トレ・脳リハ) 脳を活性化する
- マッサージ

[紹介・ネットワーク]

- アートの仕事を探している求職者の方のお話を聞きます
- 虎杖浜のご案内
- youtube での生配信!!
- 弟子入りします!
- Singaporean Penpal
- 長岡京市と大山崎町の案内
- 横浜散歩案内
- 楽しむこと
- マッチング

“おもしろい”を助っ人します!

[知識・言語]

- オフィス製品 (エクセル)
- 韓国語 (朝鮮語)
- 車を買う時にアドバイスしますよ～
- 理美容家電をえらべます。
- リフレクション (振り返り) カードを使ってあなたの振り返りを手伝います
- 台湾語と中国語を話せる
- 興味津々
- 笑顔でポジティブ変換
- 文化財をつかったまちづくりアイデア出し
- 俳句

[演劇・ダンス・パフォーマンス]

- メイクで変身!
- 読み聞かせ、紙芝居
- ダンスとお絵かき
- ダンス (バブリカなど)
- 社交ダンス
- 講演・落語・浪曲など話し聴きます。
- 落語実演
- 手話ダンス
- インド古典舞 odissi のステップを教えます!
- 寝返り・ころがる

[技術・生活]

- 装い、ファッション、お洋服、スタイリング、子ども
- お茶やお酒をのみながら楽しくお話!!
- 青森県の観光案内できます!
- 愛知県に関しておてつただいできること (案内、サポート、お手伝い)
- pc・スマホのお困りごと相談、pcで習いたいことお手伝いします
- イベントの準備

手紙折ります (大量に)

- 人の話を聞くこと
- 一緒にコーヒーを飲みながらお話をじっくりお聞きして、笑顔でおしゃべり
- 大きな笑い声でその場を盛り上げます!

[スポーツ]

- リフティングを教えること
- ファースト守れます (打順は 6,7 番ぐらいで…)
- 剣道
- Stand Up Paddle(SUP) サップ
- 卓球の相手します
- スポーツ特に野球
- ボッチャおしえます
- キャッチボール
- 走ること
- プロ野球の話をする相手役 (プロ野球観戦に興味ある人と話すのもOK!)

[その他]

- 夢を聴きます (夜見るやつです) 何でも屋
- [ゆる急]Xジェンダー、自然派志向について話し合ひましょう。
- くしゃみ
- 小さなまちづくりイベントをつくる
- ブラジル銀行
- 何でも屋
- 血圧測定、健康相談ができます
- 札幌みそラーメン提供
- “おもしろい”を助っ人します!
- カミングアウトの相談にのる
- 道具を貸せる

2010年

12月

あーだ・こーだ・けーだ再集結

2006年の取手アートプロジェクトの公募プログラムで結成した野村誠プロデューサーのアートコミュニティ「あーだ・こーだ・けーだ」が再び取手に集まった。企画は当時のTAPスタッフの長津結一郎。団地を舞台になにができるか議論がはじまった。

2011年

3月7日

とくいの銀行誕生

当初は「井野団地住生活オプション訪問販売」という団地の住宅に不必要なオプションを訪問販売するというプランを提案していたが、メンバーとあーだこーだしながら方向が変わっていき、とくいの銀行というプランが固まってくる。当初は「とくいの銀行券」という通貨を発行していた。同時に深澤孝史が勝手に頭取に就任。

3月11日

東日本大震災

東日本大震災で茨城県も被災。その後福島第一原発がメルトダウン、水素爆発し、取手もホットスポットになる。これによりアーティストの関わりも大きく変わるようになった。

4月17日

とくいの銀行仮営業開始

6月25日

とくいの君（とくいの銀行井野本店ロゴマーク）が切り絵で生まれる

11月5日

とくいの銀行通帳完成

12月1日

とくいの銀行 浜松支店、期間限定オープン

2012年

12月14日

エコジャパンカップ 2012 出展

12月15日

UR 都市機構 取材

2013年

1月27日

守谷中学校美術部 銀行開業説明会

3月16日

守谷中学校アートパフォーマンス「とくいの銀行 守谷中学校美術部支店 ひきだそう会」

2月22日

エコジャパンカップ 2012 授賞式／エココミュニケーション部門グランプリ獲得

4月

山口情報芸術センター（YCAM）10周年記念祭 公募企画「LIFE by MEDIA」受賞
とくいの銀行 山口始動

5月20日

オアシスどうもんととくいの銀行 ななつぼし商店街支店出張営業所を開所

7月6日

とくいの銀行 ななつぼし商店街支店正式開店

8月10日

とくいの銀行 なんちゃって開業マニュアルブック発行

エコジャパンカップ 2012 カルチャー部門グランプリ・準グランプリ受賞者展

- 11月17日 ● シェアする暮らしのポータルサイトに『「とくい」の交換からはじまるコミュニケーション〜とくいの銀行』記事掲載
- 11月 ● まちなか とくいの銀行 富山市中心街支店開設
- 12月1日 ● とくいの銀行 ななつぼし商店街支店 閉店
- 2014年**
- 4月 ● ソトコト 4月号にとくいの銀行の紹介記事が掲載
- 7月14日 ● とくいの銀行 富山市中心街支店休業
- 7月19日 ● とくいの銀行 札幌支店 since1869 正式開店
- 9月28日 ● とくいの銀行 札幌支店 since1869 閉店
- 2016年**
- 6月5日 ● KONICA MINOLTA ソーシャルデザインアワード 2016 アート賞受賞
- 6月25日 ● とくいの銀行 二子玉川出張所開業
ATM をスルガ銀行二子玉川支店 d-labo 内に設置
- 12月22日 ● とくいの銀行 二子玉川出張所閉業
- 2021年**
- 5月 ● とくいの銀行 ネットバンク開始
- 2023年**
- 1月19日 ● とくいの銀行白老支店開行式
- 3月3日 ● BS よしもと「ワシんとこ・ポスト」に頭取と田村白老支店長出演
- 10月30日 ● とくいの銀行のシンガポール支店 Boleh Bank が開設
- 2024年**
- 3月31日 ● とくいの銀行 なんちゃって開業マニュアルブック増補版発行

みなさんお待たせしました。

これさえあればすぐ開業できる「とくいの銀行ペーパークラフト」のつくり方をご紹介します。つくり始める前に、まずは必要な道具をそろえましょう！

[必要なもの]

カッター／カッターマット／はさみ／定規／のり

[あると便利なもの]

ペーパーナイフ（※1）／爪楊枝、綿棒（※2）






※1…折り目をつけるのに便利です。インクの切れたボールペンでも代用可。

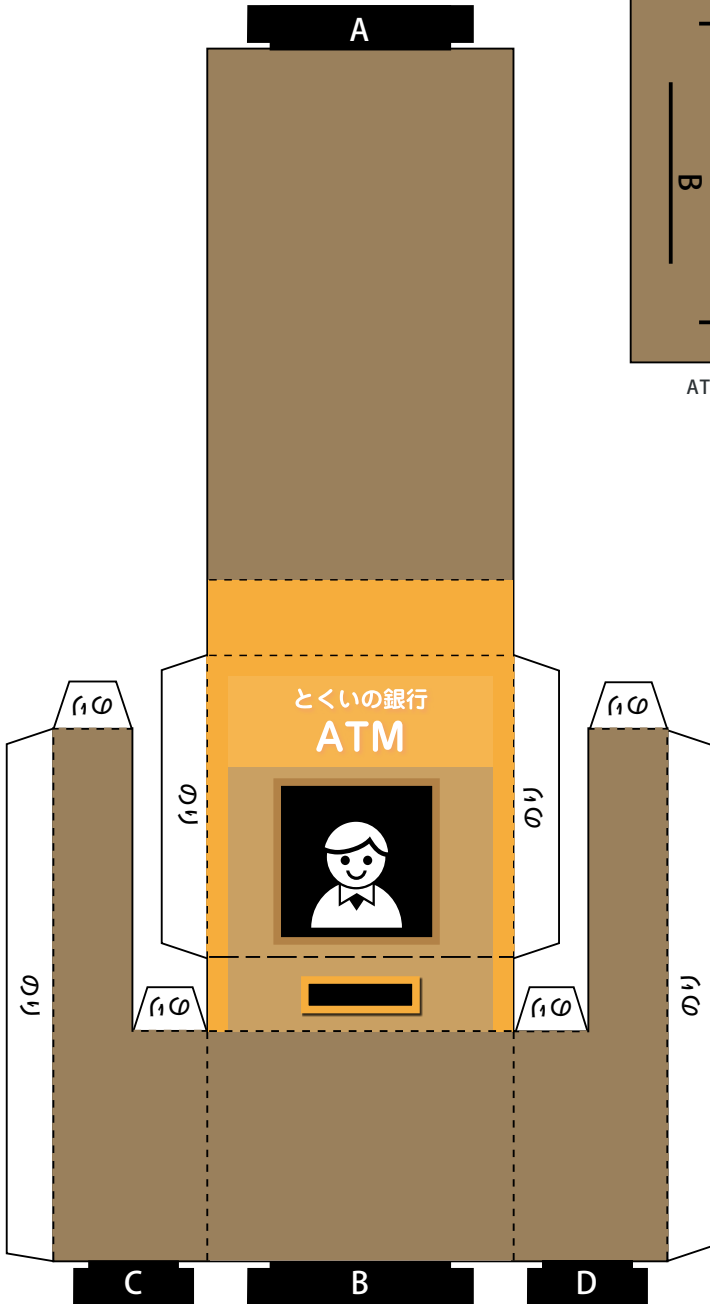
※2…細かい部分ののりづけがきれいにできます。

[部品の説明]

道具がそろったらいよいよ組み立てです。

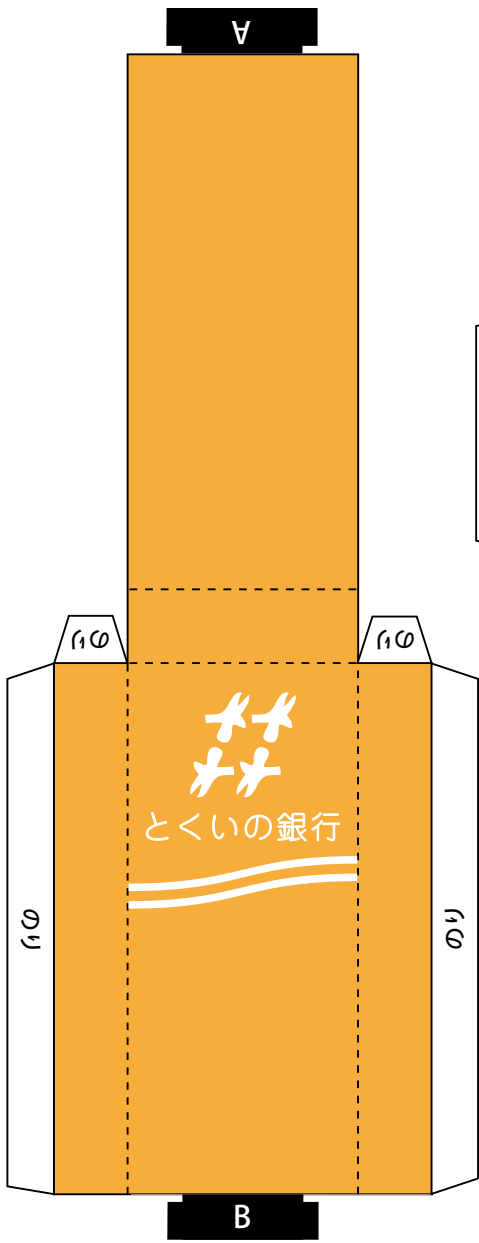
下の例をよくみながら、間違えないように部品を切り抜いて下さい。

	きりとり線
	山折線
	谷折線
	のりしろ
	さしこむ

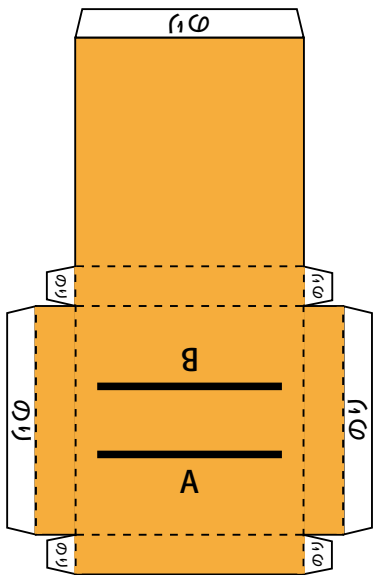


ATMスタンド

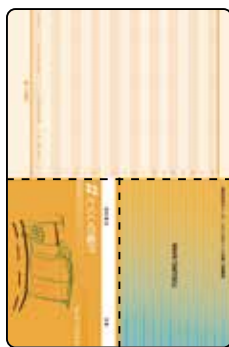
ATM 本体



看板本体



看板スタンド



通帳

とくいの銀行

なんとなく開業マニュアルブック増補版

2013年8月10日発行

2024年3月31日増補版発行

発行者

深澤 孝史 + 取手アートプロジェクト

連絡先

[取手アートプロジェクト実施本部]

〒302-0001

茨城県取手市小文間 5000

東京藝術大学取手校地福祉施設 藝大食堂 2F

TEL : 0297-84-1874 (火・金 13:00-17:00)

FAX : 0297-84-1875

執筆

深澤 孝史 / 足立 真悟 / 荒井 弘勝 / 川本 祥子 /

岸井 大輔 / 羽原 康恵 / 宮田 篤十 笹 萌恵

増補版執筆・執筆協力

深澤 孝史 / 添田 恭子 / 島田 一宏 / 田村 尚華 /

松井 遼子 / 谷 竜一 / KOH HUI LING

編集

深澤 孝史 / 足立 真悟 / 羽原 康恵

増補版編集

深澤 孝史 / 谷 竜一 / 羽原 康恵

協力

ハル編集所

デザイン

井出 はるか

©Takafumi Fukasawa, Toride Art Project

本誌掲載の写真、記事の無断転用を禁じます。



助成：東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト

